

# KINOLINE

紀伊國屋書店の提供する電子情報サービスの最新情報

vol.37, no.2 (March 2016)

1. 東洋経済新報／週刊東洋経済デジタルアーカイブズ 第1期(明治28年～昭和20年)  
待望の JKBooks 版がついに登場！
2. 【OCLC News 第9号】—OCLCに関する様々な情報をお届けいたします—
3. テレグラフ・デジタル・アーカイブ The Telegraph Historical Archive 1855-2000  
デイリー・テレグラフ、サンダー・テレグラフ全文データベース
4. 犯罪、刑罰、大衆文化 1790-1920  
*Crime, Punishment, and Popular Culture, 1790-1920*
5. 映画シナリオ・シリーズ・データベース Film Scripts Online Series
6. 世界中の地図情報・GIS データをお手元に！EVG 社製作 GIS データのご案内（北朝鮮）
7. 世界中の地図情報・GIS データをお手元に！EVG 社製作 GIS データのご案内（イラン）
8. Early English Books Online (EEBO、初期英語書籍集成データベース)  
初期近代英国の大衆向け印刷物（ブロードサイド・バラッドほか）

KINOLINE は Web 上でも閲覧できます。

[KINOLINE](#)

検索



## 「東洋経済新報／週刊東洋経済デジタルアーカイブズ」

～第1期(明治28年～昭和20年)、待望のJKBooks版がリリース！～

『東洋経済新報』(現『週刊東洋経済』)を創刊号からアーカイブ化した「東洋経済新報／週刊東洋経済デジタルアーカイブズ」がジャパンナレッジのシステムに搭載され、電子書籍プラットフォームJKBooksの新規コンテンツとして、2月1日より配信開始となりました。今回は、JKBooks版ならではの特徴を中心にご紹介いたします。

### ◆検索のしやすさを追求！◆

「東洋経済新報／週刊東洋経済デジタルアーカイブズ」(以下、「東洋経済アーカイブズ」)第1期では、創刊号(明治28年11月15日号)から2202号(昭和20年12月15日号)までを提供。時代的には、日清戦争直後から太平洋戦争終結までの時期にあたります。当時の記事には現在では使われない旧字や漢字表記が多く含まれているため、「検索するのが大変なのでは？」と思われる方もいらっしゃるかもしれません。しかし、JKBooks版ではそうした心配は無用です。独自の検索システムによって旧字・新字を同一視した検索が可能になっており、主な国名・地名の漢字表記(代用字・別字)なども含めて、現代の一般的な表記で検索することができます。

### 旧字・異体字の検索対応

ジャパンナレッジ検索システムでは独自の対応テーブルを作成し、旧字・異体字などを同一視して検索することができます。

例) 景氣→景気	對應→対応
經濟→経済	爲替→為替
會社→会社	圖表→図表
戰爭→戦争	實體→実体

### 歴史的表現のインデクシング対応

外国の国名・地名などの漢字表記、人名の略表記、代用字による標記が一般的になつた熟語などに対応するため、専用の検索キーを新たに作成しました。例えば、「メキシコ」で検索すると、「墨其古」「墨國」「墨其哥」「墨西其」「墨其西哥」などを目次中に含む記事がヒットします。

例) アメリカ、米國→アメリカ

費府 → フィラデルフィア

桂公 → 桂太郎

ル大統領 → ルーズベルト大統領

ローサンジェルス → ロサンゼルス

レシーヴァー → レシーバー

掠奪→略奪

聯合→連合

## ◆操作性に優れた専用の検索画面！◆

「東洋経済アーカイブズ」に特化した検索画面(詳細検索)が用意されています。検索範囲は3種類(すべて・タイトル・執筆者名)から指定できるほか、複数キーワードの組み合わせが可能です。また、ジャパンナレッジ独自のファセット機能を使って、年代(明治／大正／昭和)、発行年月日、頁分類・記事種別による絞り込みを行うことができます。

The screenshot shows the KINOLINE search interface. At the top, there's a search bar with fields for '石橋湛山' (Ishibashi Sankō), '執筆者名' (Author Name), and dropdown menus for '部分一致' (Partial Match). Below the search bar are filters for '条件' (Conditions) like 'AND' and 'OR'. To the left, there's a sidebar with '検索エンジンを表示' (Show Search Engine), '東洋経済アーカイブズ' (Tōyō Keizai Archive), and various search filters for '発行年月日/号' (Publication Year/Month/Issue), '号を指定' (Specify Issue), and '号なども指定' (Also specify issue number). The main content area displays a document titled '東洋経済新報/週刊東洋経済デジタルアーカイブズ' (Tōyō Keizai Shimbun/Digital Archive). It shows a list of search results, with the fourth result highlighted: '職業問題對策座談會—採用者の希望と就職者の心事を語る—' (Discussion on Employment Problems—Speaking about the hopes of employers and the thoughts of job seekers—). A red box highlights this specific result. Below the results, there's a large preview of the document page, which features a title '職業問題對策座談會' (Discussion on Employment Problems), a subtitle '採用者の希望と就職者の心事を語る', and a list of names: 石川 澄也, 西田 勝, 原田 伸也, 田中 真一, 武蔵山治, 山崎 崇純, 安田 順四郎, 牧野 雄智, 齐藤 久, 三浦 雄太郎, 石橋 湛山. The page also includes a photograph of a group of people seated around a table.

執筆者名「石橋湛山」で検索した後、頁分類・記事種別による絞り込んだ場合の検索例。

頁分類・記事種別による絞り込みは、膨大なデータの中から効率よく必要な情報を入手するため有効な手段です。

## 昭和 9 年 2 月 24 日号 (1588 号)

### 「職業問題對策座談會」

就職活動は当時から世間の関心を集めること題であつたことがわかります。

The screenshot shows the Knowledge Searcher interface. At the top, it says 'Knowledge Searcher' and '現在のコンテンツ' (Current Content). Below that is a search bar with the query '餘計'. The main area displays a list of search results from the '週刊東洋経済新報 第一五八号 (昭和九年二月二十四日)' (Weekly Tōyō Keizai Shimbun No. 158 (February 24, 1934)). The results include titles such as '職業問題對策座談會—採用者の希望と就職者の心事を語る—' (Discussion on Employment Problems—Speaking about the hopes of employers and the thoughts of job seekers—) and '就職活動の現状と対策' (Current Status and对策 of Employment Activities). On the right side, there's a sidebar with '目次' (Table of Contents) and a list of categories like '就職活動' (Employment Activities), '就職問題' (Employment Problems), '就職情報' (Employment Information), and '就職相談' (Employment Consultation). At the bottom, there's a section titled '検索結果' (Search Results) with a list of items related to '餘計'.

本文ページは、高品質な PDF 画像で表示されます。書籍のように一冊ごとにページをめくって閲覧することも、目次を利用して当該ページへジャンプすることができます。また、閲覧中に読み方や意味がわからぬ単語が出てきた時は、Knowledge Searcher 機能(テキストをマウスでなぞって検索する機能)が役立ちます。この Knowledge Searcher も他のサービスにはない独自機能で、後述するジャパンナレッジ Lib とプラットフォームを統合して利用する場合に、高い利便性を発揮します。

## ◆「本棚」から冊子単位で閲覧可能！◆

「本棚」機能を使えば、創刊号から1誌ずつ、紙の雑誌を読むように閲覧することができます。発行年月日や号数から選択できるほか、附録や臨時増刊などを内容別にまとめて閲覧することも可能です。

発行期間や号の指定のほか、特集名が付与されている号だけ抜き出したり、附録・臨時増刊分類での絞り込みが可能です。

「株式會社年鑑」「銀行年鑑」で絞り込み。  
表紙デザインの変遷を楽しむこともできます。

## ◆ジャパンナレッジ Lib との統合利用がおすすめ！◆

ジャパンナレッジ Lib とプラットフォームを統合することで、『日本大百科全書』『国史大辞典』『日本人名大辞典』などの辞事典類との一括検索が可能となります。また、『太陽』『文芸俱楽部』『風俗画報』など他の JKBooks コンテンツをご購入済の場合は、同時代の貴重資料もまとめて検索できるようになります。言葉の意味や記事が執筆された時代背景をあわせて知ることは、「東洋経済アーカイブズ」を利用した調査・研究により広がりと深みを与えてくれることでしょう。(一括検索できるコンテンツの種類は、ご契約内容によって異なります。)

ジャパンナレッジ Lib および他の JKBooks コンテンツと  
一括検索した場合の検索結果画面（検索語：鐘淵紡績）

「国史大辞典」「日本歴史地名大系」に収録されている項目。

「風俗画報」「太陽」に収録されている記事。

「東洋経済」に収録されている記事は 78 件ヒットしました。

## ◆価格◆

フルセット一括購入のほか、明治期・大正期・昭和期をそれぞれ分売でご購入いただくことも可能です。2016年10月まではキャンペーン価格(定価から20%割引)が適用されます。

コンテンツ	収録期間	本体価格(税別)	キャンペーン価格(税別)
フルセット	明治期 / 大正期 / 昭和期 (1895年11月～1945年12月)	1,388,889円 (税込1,500,000円)	1,111,112円 (税込1,200,000円)

## 分売価格

明治期	明治28年11月～明治45年7月 (1895年11月～1912年7月)	416,667円 (税込450,000円)	333,334円 (税込360,000円)
大正期	大正元年8月～大正15年12月 (1912年8月～1926年12月)	324,075円 (税込350,000円)	259,260円 (税込280,000円)
昭和期	昭和2年1月～昭和20年12月 (1927年1月～1945年12月)	648,149円 (税込700,000円)	518,519円 (税込560,000円)

※消費税は8%になります(2016年2月現在)

※本サービスは電子書籍プラットフォーム JKbooks のお申し込みが必要となります(ジャパンナレッジ Lib とは別のプラットフォームとなります)。

※ご購入時、①JKBooks 単独でご利用、②ジャパンナレッジ Libとの統合プラットフォームでご利用、のいずれかをご選択ください。

①JKBooks 単独でご利用の場合

年間システム利用料をご購入価格の2%(例:フルセットの場合は27,778円[税別])を頂戴いたします。JKBooksの同時アクセス数は4となります。

②ジャパンナレッジ Libとの統合でご利用の場合

年間システム利用料はかかりません。同時アクセス数はジャパンナレッジ Lib に準じます。

※ジャパンナレッジ Lib、および、JKBooks の会員でないお客様は、登録および初期設定費用として、入会費15,000円(税別、初回契約時のみ)と年間システム利用料を頂戴いたします。詳細はお問い合わせください。

※ご購入時に、全ページの画像データをメディアでお納めいたします。

※動作環境については、[ジャパンナレッジ Lib ウェブサイト](#)にてご確認ください。

## ◆トライアル◆

1ヶ月間のトライアルが可能となります。下記申込書で紀伊國屋書店までお申し込みください。

[http://www.kinokuniya.co.jp/03f/denhan/jkn/jkb\\_trial.pdf](http://www.kinokuniya.co.jp/03f/denhan/jkn/jkb_trial.pdf)

掲載の商品・サービスに関するお申し込み、お問い合わせは、株式会社 紀伊國屋書店 学術情報商品部

(電話:03-6910-0518、ファクス:03-6420-1359、e-mail:[online@kinokuniya.co.jp](mailto:online@kinokuniya.co.jp))までお願い致します。

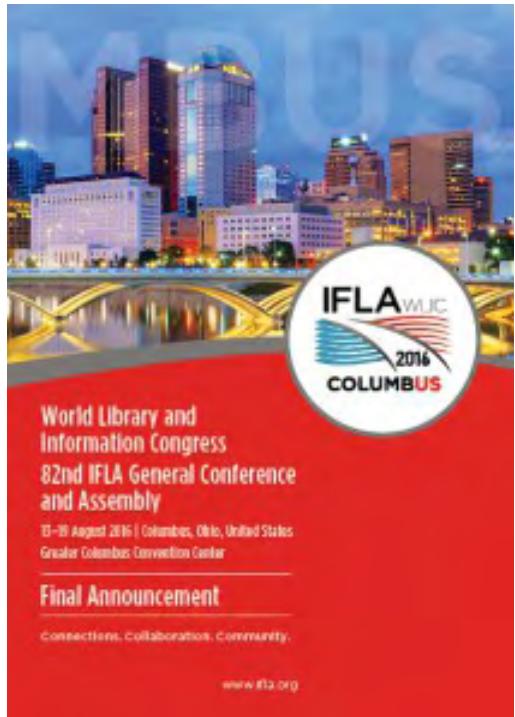
お預かりした個人情報は、弊社規定の「個人情報取扱方針」<http://www.kinokuniya.co.jp/06f/gaiyo6.htm>に則り、取り扱わせて頂きます。



第9号

商品情報をはじめ、OCLCに関する様々な情報をご案内致します。

## ●○Topics○●

第82回国際図書館連盟(IFLA)の2016年次総会がOCLC本部のあるコロンバスで開催されます！◇ [IFLA公式サイト](#)

◆ 日程：2016年8月13（土）-19日（金）

◇ 場所：アメリカ合衆国オハイオ州コロンバス  
[Greater Columbus Convention Center](#)◆ [総会プログラム\(PDF\)](#)◇ [参加登録ページ](#)

◆ 申込み期限（日本時間）

早期申込締切：2016年5月18日（水）午前8:00

通常申込締切：2016年8月12日（金）午前2:00

現地申込開始：2016年8月12日（金）

2016年のIFLA年次総会は、OCLC本部から車で約20分とほど近いオハイオ州コロンバスの会場で開催されます。開催期間中には、OCLC見学ツアーも組まれております。この機会に奮ってIFLA年次総会にご参加いただき、是非OCLCにもお立ち寄りください。

## ●○ニュースレター“CONTENTdm UPDATE”より○●

デンバー公共図書館、廃刊した名門地元紙の写真アーカイブをCONTENTdmで公開

米国コロラド州、ロサンゼルスとシカゴの間に位置するデンバー公共図書館は、数年前、その報道内容が高く評価されながらも廃刊となった名門地元紙「ロックキー・マウンテン・ニュース」のアーカイブ所有権を得ました。このアーカイブには、1990年代後半から2009年の同紙廃刊まで20年間弱にわたって撮影された308,562枚の写真、ネガ、プリント、その他、様々な調査ファイルが含まれています。

このたび同館職員とOCLCスタッフによる2年間の取り組みが結実し、デンバー公共図書館は

ロックキー・マウンテン・ニュースのデジタル写真アーカイブを世界中の研究者に向けて公開したことを発表しました。

当コレクションには、ピューリッツァー賞を受賞した「コロラドの山火事に関する写真」、「コロンバイン高校銃乱射事件の直後の生徒達の写真」、イラク戦争で戦死した海軍人の葬儀の舞台裏を追ったトッド・ヘスラー



▲ピューリッツァー賞を受賞した写真シリーズ  
「コロラドの山火事に関する写真」からの一枚

の「最後の敬礼 (Final Salute)」など、衝撃的な写真シリーズが複数含まれている他、2008年にデンバーで開催されたアメリカ民主党全国委員会の写真 2,208枚なども見ることができます。

デンバー公共図書館は現在、OCLC のデジタルコレクション管理・公開ツール「CONTENTdm」を用いて作成された同館専用のデジタルライブラリーで、110万件のユニークな資料を公開しています。コレクション写真の閲覧、あるいは「ロッキーマウンテンニュースアーカイブ」に関するより詳しい情報は、[デンバー公共図書館ガイドの案内ページをご覧ください。\(当記事のオリジナルはこちらから\)](#)

## ●○OCLC ニュースリリースより○●

### SCS サービス、図書館グループの共有コレクション管理サポートを開始



OCLC の提供する Sustainable Collection Services (SCS)は、このたびコンソーシアムや地域の図書館グループによる紙資料共有プロジェクトを対象としたサポートサービスを開始しました。SCS サービスでは、これまで WorldCat 上に登録された所蔵情報を元に個別の図書館の資料所蔵状況を分析し、除籍や保存、移管などの判断材料となるデータを提供してきましたが、多くの図書館からの要望に応える形で、今回このサービス対象が複数の図書館で共有されている紙資料にも拡大されたとのことです。[\(当記事について詳しくはこちらから\)](#)

## ●○今号の数字○●

世界の OCLC カタログユーザー数...

**10,253**

OCLC のオンライン共同目録 [WorldCat](#) 上で見ることができる膨大かつ多様な図書館資料の情報は、世界中の OCLC メンバー館が作成・登録する目録データが元になっています。オンラインあるいはバッチ処理で新規データを登録したり、情報に不足や誤りのあるデータを修正することで WorldCat の構築と品質管理に貢献しているメンバー館は「カタログユーザー」と呼ばれます。2015年8月末時点でのカタログユーザー数は 10,253 機関にのぼっています。地域別にみると、南北アメリカが群を抜いていますが、日本を含むアジア・パシフィック地域でも 835 機関が、この世界最大の図書館資料データベースの構築と管理に寄与しています。

### OCLC カタログユーザー数

2015 年 8 月 31 日時点

地域	機関数
アジア・パシフィック	835
ヨーロッパ・中東アジア・アフリカ	668
南北アメリカ	8,750
計	10,253

掲載の商品・サービスに関するお申し込み・お問い合わせは…

株式会社紀伊國屋書店 学術情報商品部 OCLC センター [<http://www.kinokuniya.co.jp/03f/oclc/>]

電話:03-6910-0516 ファクス:03-6420-1359 e-mail:[oclc@kinokuniya.co.jp](mailto:oclc@kinokuniya.co.jp) までお願い致します。

お預かりした個人情報は、弊社規定の「個人情報取扱方針」<http://www.kinokuniya.co.jp/06f/gaiyo6.htm> に則り、取り扱わせて頂きます。

テレグラフ・ヒストリカル・アーカイブ  
デイリー・テレグラフ、サンデー・テレグラフ全文データベース  
The Telegraph Historical Archive 1855-2000

センゲージ ラーニング株式会社

本データベースはイギリスの高級紙デイリー・テレグラフを、1855年の創刊号から2000年まで全号、全ページを原紙に忠実にページイメージで再現するデジタル・アーカイブです。また、1961年創刊の日曜版サンデー・テレグラフも2000年まで収録します。



◆ペニー新聞のパイオニア◆

デイリー・テレグラフは、印紙税が廃止された1855年に創刊されました。印紙税廃止後に発刊が続いた安価な新聞はペニー新聞と呼ばれましたが、デイリー・テレグラフはそのペニー新聞を代表する新聞です。テレグラフの低価格路線により、新聞は広範囲の社会階層の手に届くものとなり、創刊10年後には、新聞界の巨人タイムズの発行部数を追い抜きます。それ以降、世紀末に大衆紙デイリー・メールが創刊されるまで、自他共に認める発行部数最大の新聞として、一時代を築きました。

**With these figures staring us in the face, our mission is to extend to this country the benefit of a cheap and good Daily Press, and now that Parliament has wisely knocked off the last shackle which fettered the progress of the Press, in this great metropolis, we take our stand, availing ourselves, the first possible moment the law permitted, of the Repeal of the Stamp Duty, to issue our Journal at the price of TWO PENCE, as a candidate for popular favour.**

In the principles of the TELEGRAPH AND COURIER, (the former name we trust appropriate, from the sources of our special information, and the latter, as an evidence of our means of dissemination and circulation), and in our conduct of this journal, we shall be guided by a high tone of independent action; we shall be bound to the fitters of no party; we will be fearlessly independent—not the independence of unchecked and thoughtless attack, but the independence of utterance befitting reflecting Englishmen; we shall be ever thoroughly loyal and constitutional in our sentiments, in the objects of our labour, and in advice to our fellow-subjects—purely patriotic in our motives—and as Christians

TO OUR SUBSCRIBERS AND THE PUBLIC.  
From this day *The Daily Telegraph* will be published at the price of  
**ONE PENNY.**

TO NEWSVENDORS.  
In reply to numerous communications, we are compelled for the future to omit the *List of Agents supplying the Daily Telegraph*. Since the arrangement of our Journal has been altered as from this date, the price of One Penny, hundreds of News Agents from all parts of the kingdom have sent in their names as desirous to supply it; consequently, without seriously trespassing upon our space, we could find no room to publish the list of them. To individualise a few in the chief towns would therefore be ineffectual, and, with many thanks to the trade for the voluntary and very gratifying offer of their names as our country agents, while we accept their aid with pleasure, we are obliged, from the above reason, in future to abstain from publishing the names.

TO THE TRADE.  
All orders directed to us, must be accompanied by cash or Post Office order, and taken in the name of our publisher. It would be far better for the town and country trade to order their papers through their regular News Agents, as they will thereby ensure an early delivery of their parcels, and save us an infinite amount of correspondence and trouble.  
Trade Agents are particularly recommended to avail themselves of the regular News Agents, whose express business it is to supply their orders early and with punctuality. By availing themselves of the wholesale trade, all news-vendors can receive the *Daily Telegraph* by seven o'clock each morning, which cannot be effected

**LARGEST CIRCULATION IN THE WORLD.**  
**THE SALE OF THE DAILY TELEGRAPH**  
**AMOUNTS TO AN AVERAGE WHICH, IF TESTED,**  
**WILL SHOW AN EXCESS OF HALF A MILLION COPIES WEEKLY**  
**OVER ANY OTHER MORNING PAPER.**

「発行部数最大の新聞」

創発行部数が50万部を超える新聞界の巨人タイムズをも凌ぐイギリス新聞の発行部数を誇る新聞にまで成長した。  
～January 1, 1886～

創刊の辞

デイリー・テレグラフ(創刊時は Daily Telegraph and Courier)の創刊の辞の一節「議会が賢明にも、新聞の進歩に足枷をはめていた印紙税を廃止した今、2ペンスで発行することとした。」  
～June 29, 1855～

ペニー新聞の誕生

創刊から3ヶ月後の9月1日、紙名を Daily Telegraph に変え、価格を1ペニーに下げた。  
～September 17, 1855～

◆ジャーナリズム界の寵児ジョージ・サラ◆

後発の新聞としてイギリス新聞市場を勝ち抜くため、テレグラフは低価格路線だけでなく、内容面でも新しい試みを実践する必要がありました。それを体現した人物がジョージ・オーガスタス・サラ(George Augustus Sala)です。サラは、世界各地を飛び回り、リンカーン、ナポレオン3世、ガリバルディといった時の人へのインタビューを果敢に試み、テレグラフの看板記者としての名声を獲得、ジャーナリズムの新境地を切り開きました。インタビュー記事の導入、ヘッドラインの多用、読者を意識した独特な文体といった特徴は、保守的な文人マシュー・アーノルドから「ニュー・ジャーナリズム」の名の下に批判されますが、これらの要素は、その後のデイリー・メールらの大衆紙の試みを先取りしたものでした。



Punch Historical Archive  
～August 27, 1881～

**AMERICA IN THE MIDST OF WAR.**  
[FROM OUR SPECIAL COMMISSIONER.]

WASHINGTON, JUN. 18.

You must really pardon me, if, for the space of another mail, I still keep you halting on the threshold of the naughty life of New York. *Majors caninus*. When your duty commands you to be ever on the wing—to live, as it were, in a portmanteau, to have no settled place or abode, but to be always wandering from city to city, from one hotel to another, from one sea of strange faces to another ocean of unaccustomed humanity—the difficulty of keeping pace, in manuscript record, with all that you have seen and all that you have learned, may easily imagined. I seem to be always at work, yet the arrears I have already accumulated are enormous. I have a list well nigh as long as Leporillo's calendar of Don Giovanni's peccadilles—scenes and things and people I feel to describe and comment upon. I have hands of Briareus, or could the only forty-eight hours, I should reproach myself with. But the days follow, without resembling and with but one hand and one head—not even the feeble consolation of dextro or duocaphalous—I feel necessarily lag behind, and give rise to cries at home of "Why tarries this is always at the beginning; and

**THE EMPEROR'S VISIT TO ALGERIA.**

[FROM OUR SPECIAL CORRESPONDENT.]

LYON, APRIL 26.

"She will come, she will come!" was the pathetic aspiration of poor old Monksie Jacques in his garret, hoping against hope. "She will come!"—he swore, to be cherished the conviction, and it consoled him under all the privations which poverty could bring, and all the indignities which a sordid landlady and an unsympathetic washerwoman could heap upon his aged head. The long looked-for "she" did not come, having died at Palermo; but her daughter came instead, and made the mournful musician happy.

For the best part of a week I have been musing to myself, all day, and pretty nearly all night, through the heat of the weather,

**GARIBALDI AT WORK.**

[FROM A CORRESPONDENT.]

SALO, JUNE 19.

At this time, almost in the presence of events which will be of glorious or fatal moment for Italy, when the commencement of Italy's struggle for final independence is a question of a very few hours, I feel confident that you in England who know and love General Garibaldi will be glad to have all the information you can concerning him, and the historical incidents of which he is just now the centre. The wondrous exhibition of a people's love and hope, as it is expressed wherever he shows himself, has in it a fervour and poetry, and, withal, a beautiful dignity so remarkable that the smallest details of the spectacle are worthy of record. I

ジャーナリズム界の寵児ジョージ・オーガスタス・サラ

アメリカ、アルジェリア、イタリア、ドイツ、ロシア、スペイン、オーストラリア、ニュージーランドと、ジョージ・オーガスタス・サラはテレグラフの特派員として世界各地に赴き、リンクーン、ナポレオン3世、ガリバルディ、ローマ教皇ら世界の要人にインタビューを試みた。それまでの新聞界にはないタイプの新しいジャーナリストであった。

～(左) January 2, 1864 (中) May 2, 1865 (右) June 26, 1866～

**THE LIVINGSTONE SEARCH EXPEDITION.**

At the meeting of the Royal Geographical Society, held in the theatre of the London University, last night, the proposed expedition for the search and relief of Dr. Livingstone was discussed. There was a strong desire

The PRESIDENT (General Sir H. C. Rawlinson, K.C.B.) stated that he very much regretted that he found himself unable, on this interesting occasion, to speak at any length, as he was suffering from a severe cold; but he had put into writing a statement respecting the expedition for the search and relief of Dr. Livingstone, which would be read by the secretary. He would have that evening the pleasure of introducing Lieut. General Dawson, of the Royal Navy, who had volunteered to lead the expedition into Africa. (Cheers.) He had also hoped to be able to introduce Mr. W. O. Livingstone, the great traveller's second son, who had volunteered to join the expedition in search of his father, and whose services had been accepted—(cheers)—but Mr. Livingstone was detained in Glasgow at a great public meeting, held for the purpose of collecting subscriptions for this expedition. It was possible that the expedition would not have sailed before the next meeting. If that should be the case, he would take that opportunity of introducing Mr. Livingstone to the society. (Renewed cheers.)

編集長エド温・アーノルド

詩人で東洋学者のエド温・アーノルドが編集長の時代、テレグラフの外国報道は充実した。テレグラフがアフリカで失踪した探検家リヴィングストン捜索の共同スポンサーになったのも、アーノルド編集長時代である。

**THE EASTERN QUESTION.**

[FROM OUR OWN CORRESPONDENT.]

CONSTANTINOPLIE, DEC. 5.

It would be difficult to exaggerate the gravity of the rupture between Turkey and Greece. Although the English have taken Europe by surprise, for looking at the diplomatic relations which have for some time existed between the two countries, the wonder is that it did not occur before. The speech of Lord Stanley at King's Lynn, in which he made some very forcible allusions to affairs in Turkey, produced a considerable amount of bitterness in the minds of the Ottoman Ministers, and it is but fair to say that, however true the remarks of the noble ex-Secretary for Foreign Affairs may have been, the Turks will not give a single concession which he advanced. It is, indeed, always easy to get up a noise about Turkey, and in this case Turkey had to complain for the past two years of the open and covert connivance of Greece with the Cretan insurrection; but why this should not have been allowed to pass off quietly, it is not necessary to stay to examine, with what has occurred staring us in the face. As we have to do with present realities, and not with affairs as they have been

**INDIA, CHINA, AND JAPAN.**

The arrival of the Overland Mail supplies us with correspondence and journals from Bombay to Dec. 14, Hong-Kong to Nov. 14, and Japan to Nov. 14.

The *Bombay Gazette* of the 14th ult. contains the following summary of news:

The English mail of 18th ult. with telegraphic news to

the 1st, arrived here on the 18th ult.

His Excellency Col. Sir William Thomas Denison,

K.C.B., Governor of the Presidency of Madras, arrived

at Calcutta on the 1st, took the next outfit sent to

him as Provinicial Governor-General and Viceroy of India, on the 2nd inst.

General Sir Charles Napier, senior member of the Madras Council, has become Provincial Governor of Madras.

Lady Denison remained at Madras, while Lady Elgin reached Calcutta on the 2nd ult. for Durbar, and has now halted at Delhi on the 7th and 8th, and left Aligarh on the 9th, coming thence by train straight to Allahabad on her return to England.

His Excellency the Commander-in-Chief of India, Sir Hastings, occupies a central position in the Indian Army, and will make his headquarters at Lucknow.

His Excellency Sir Charles Freer, Governor of Bombay, is at present in Bombay. His Excellency Sir William Macpherson, Governor of Madras, has proceeded to the Malabar Hills for residence.

The Lord Bishop of Calcutta and the Masters



The Illustrated London  
News Historical Archive  
~April 2, 1904~



女性向けページ

デイリー・メールがそれまで新聞の読者層とは見なされることのなかった女性を読者として意識した紙面作りを始めたとの同じ頃、テレグラフも土曜日に女性用ページを新たに設け、料理、ファッション、クリエーション、読書、各界の女性の動向などの記事を挿絵入りで掲載した。

～ July 15, 1899～

◆チャーチルとの半世紀以上に及ぶ関係◆

テレグラフの歴史の中で、最も深い関わりを持った人物を挙げるとすれば、おそらくウインストン・チャーチルでしょう。両者の関係は、チャーチルがまだ無名の20代の頃、従軍記者としてインド北西部の英軍軍事作戦の記事を寄稿して以降、半世紀以上にも及びました。中でも、第二次大戦前夜、ヒトラーに対するチェンバレン内閣の融和政策にチャーチルが反対の声を挙げたとき、テレグラフはいち早く支持を表明、チャーチル首相就任のための世論を喚起しました。ジャーナリストチャーチルを世に送り出し、政治家チャーチルを側面から支援したテレグラフは、チャーチル一個人だけでなく、その政治理念や彼を支持した社会階層を考察するための格好の資料です。

## ON THE INDIAN FRONTIER

By A YOUNG OFFICER.

MALAKUND, Sept. 3.

As the correspondent approaches the theatre of war he will naturally endeavour to observe every sign along the line of communications which indicates an unusual state of affairs. The first incident that suggested the great mobilisation on the frontier happened as I was leaving Bangalore. The 9th Madras Infantry were going to the front. It was a striking and, in some ways, a moving spectacle. The Madras Army is a very much-married army. The Madras Sepoy is a domesticated person. Women of every age and class hung, weeping, to the departing soldiers, their sons going to some distant

## ジャーナリストチャーチルの誕生

チャーチルはインド部族の反乱を鎮圧する軍事作戦に従軍記者として参加した。

～October 6, 1897～

## SIR WINSTON 'FALLING INTO DEEPER SLEEP'

'NOT CONSCIOUS OF PAIN OR DISCOMFORT'

WIFE AT BEDSIDE ALL DAY AFTER STROKE

SARAH CHURCHILL FLIES FROM HOME AT 2:30 a.m.

SARAH CHURCHILL ARRIVES

SIR WINSTON CHURCHILL, who was 90 on Nov. 30, died yesterday after a stroke at his Hyde Park home.

A bullet hole found in the house at 8½ feet

There has been little change in Sir Winston's condition since he had a stroke on Dec. 1. He is deeply sleep and not conscious of pain or discomfort. His wife, Sarah Churchill, has been at his bedside all day. Signed: Murdoch.

Sir Winston's son, John, left for India yesterday. There is a chance that he may return to England next week because his son, Winston, is now about 12 years old. The position is simply that it is

not known if there was any hope for Sir Winston's recovery.

The bullet hole, says Our Medical Consulting

doctor, very grave and suggests that Sir Winston is in

WEAKNESS AFTER A STROKE



## Sir Winston: A Little Weaker, Says Ld. Moran

## PEACEFUL SLEEP

SUNDAY TELEGRAPH REPORTER  
SIR WINSTON CHURCHILL, last November, who is generally ill and has been so for some time, had a stroke on Dec. 1. A bullet hole was found in the house at 8½ feet from the window. His wife, Sarah, has been at his bedside all day. Another bullet was found on sandal.

Callers Take Flowers

LADY CHURCHILL'S REST

Yesterdays' news, page 1, column 2

LADY CHURCHILL: Arrived for short drive

2 Pears



## SIR WINSTON LOSES GROUND

RESTLESS START TO PEACEFUL DAY

FAMILY VISITS LAST UNTIL 1 a.m.

THE QUEEN AT PRAYERS

ROYAL TELEGRAPH REPORTER

SIR WINSTON CHURCHILL, 90, died "last night" yesterday. A bullet hole was found in the house at 8½ feet from the window.

After a restless start, Sir Winston had a peaceful day, but his wife, Sarah, was not well.

There will be a further bulletin tomorrow morning.

LADY CHURCHILL: Arrived for short drive

2 Pears

## LOSES

Royal party

join village

prayers

WESTMINSTER

## ◆多彩な記者、外国特派員◆

ジョージ・サラ、チャーチルの他にも、デイリー・テレグラフは多彩な記者、外国特派員によって支えられてきました。19世紀末に編集長を務めた詩人で東洋学者のエド温・アーノルド(Edwin Arnold)、普仏戦争のときドイツ軍のパリ入場を他紙に先駆けて報じたジョン・メリー・ル・サージュ(John Merry Le Sage)、19世紀末のアルメニア人大虐殺を報じたエミール・ジョゼフ・ディロン(Emile Joseph Dillon)、20世紀前半の名物コラムニスト、ジョン・ベンジャミン・ファース(John Benjamin Firth)、第一次大戦時の英軍のガリポリ作戦を克明に伝えたエリス・アシュミード・バートレット(Ellis Ashmead-Bartlett)、第二次世界大戦の火蓋を切ったドイツ軍のポーランド侵攻をスクープしたクレア・ホリングスワース(Clare Hollingsworth)、さらには論説委員のマルコム・マッゲリッジ(Malcolm Muggeridge)、演劇評のクレメント・スコット(Clement Scott)、文芸批評・建築批評のジョン・ベッジュマン(John Betjeman)、ジャズ批評のフィリップ・ラーキン(Philip Larkin)、計報記事のヒュー・モンゴメリー・マッシングバード(Hugh Massingberd)

Montgomery-Massingberd)ら第一級の記者、ライターがテレグラフを支えました。

### PARIS AND THE GERMAN ENTRY

DANGEROUS EXCITEMENT IN THE CITY.  
RIOTING AT BELLEVILLE AND OTHER QUARTERS.  
TURBULENCE AMONG THE NATIONAL GUARDS  
PROCLAMATIONS BY THE GOVERNMENT.  
ARRANGEMENTS FOR THE PRUSSIAN MARCH.  
AFFECTING SCENE IN THE NATIONAL ASSEMBLY.

TELEGRAPHIC DESPATCHES FROM OUR SPECIAL CORRESPONDENTS.

IMPERIAL HEADQUARTERS, VERSAILLES.

TUESDAY MORNING, PARIS.

At the last moment, by his usual Majority vote, the government, the Emperor and his Royal and Princely guests the preliminary Treaty of Paris, which had been signed only half an hour before at the German Foreign Office in the Rue de Provence.

In a cordon the heartful fêtiations of the

parties who were gathered around him, his

attendants at the National Assembly.

The proclamation could only be

condition of a party and very long

time to come.

This proclamation will be limited

to the Champs Elysées.

The Emperor has power to enter into Paris with his troops, and will be allowed

to do what he pleases.

The proclamation shall have

which can only be a small number.

If the Emperor does not

act, the enemy, the

forts, would occupy by force,

and your monuments, to-day guaranteed

by the Convention, would cease to

exist.

The right of passage of war, which

passed the Loire, would extend to

the Seine.

The Emperor's first duty and

the main object of the expedition

involved is that of the salvation

of France.

It is now time to initiate the error of

which we have made, or when, eight in

adjudged them not to undertake a war

with the French.

The French army, which has de-

so with much courage, will occupy the

Seine, it is for the King to decide

whether it is for the King to unite

himself with the army to man-

age it, or let it go.

Let us hope that the Emperor

will have learned from those

who have shown themselves brave

in every army, that the Emperor

and his army, too, will end by

return of public property.

A. T. THOMAS, chief of the Exec-

utive of the French Republic.

### THE GERMAN OCCUPATION OF PARIS

FROM OUR SPECIAL CORRESPONDENT WITH THE CROWN PRINCE'S CHIEF-QUARTERS.

MARSHAL L.

I think it is best to begin at once with the news, so as

soon as I can give of what I saw today, without

any preliminary remarks. I have just left

Saynhausen. As I turned on the rising ground

the sight of the Williams was still erect

on horseback in the Rastatt camp.

He was mounted on a white

shunter, or chow, or whatever

name you like to call it.

He was mounted on a white

shunter, or chow, or whatever

name you like to call it.

He was mounted on a white

shunter, or chow, or whatever

name you like to call it.

He was mounted on a white

shunter, or chow, or whatever

name you like to call it.

He was mounted on a white

shunter, or chow, or whatever

name you like to call it.

He was mounted on a white

shunter, or chow, or whatever

name you like to call it.

He was mounted on a white

shunter, or chow, or whatever

name you like to call it.

He was mounted on a white

shunter, or chow, or whatever

name you like to call it.

He was mounted on a white

shunter, or chow, or whatever

name you like to call it.

He was mounted on a white

shunter, or chow, or whatever

name you like to call it.

He was mounted on a white

shunter, or chow, or whatever

name you like to call it.

He was mounted on a white

shunter, or chow, or whatever

name you like to call it.

He was mounted on a white

shunter, or chow, or whatever

name you like to call it.

He was mounted on a white

shunter, or chow, or whatever

name you like to call it.

He was mounted on a white

shunter, or chow, or whatever

name you like to call it.

He was mounted on a white

shunter, or chow, or whatever

name you like to call it.

He was mounted on a white

shunter, or chow, or whatever

name you like to call it.

He was mounted on a white

shunter, or chow, or whatever

name you like to call it.

He was mounted on a white

shunter, or chow, or whatever

name you like to call it.

He was mounted on a white

shunter, or chow, or whatever

name you like to call it.

He was mounted on a white

shunter, or chow, or whatever

name you like to call it.

He was mounted on a white

shunter, or chow, or whatever

name you like to call it.

He was mounted on a white

shunter, or chow, or whatever

name you like to call it.

He was mounted on a white

shunter, or chow, or whatever

name you like to call it.

He was mounted on a white

shunter, or chow, or whatever

name you like to call it.

He was mounted on a white

shunter, or chow, or whatever

name you like to call it.

He was mounted on a white

shunter, or chow, or whatever

name you like to call it.

He was mounted on a white

shunter, or chow, or whatever

name you like to call it.

He was mounted on a white

shunter, or chow, or whatever

name you like to call it.

He was mounted on a white

shunter, or chow, or whatever

name you like to call it.

He was mounted on a white

shunter, or chow, or whatever

name you like to call it.

He was mounted on a white

shunter, or chow, or whatever

name you like to call it.

He was mounted on a white

shunter, or chow, or whatever

name you like to call it.

He was mounted on a white

shunter, or chow, or whatever

name you like to call it.

He was mounted on a white

shunter, or chow, or whatever

name you like to call it.

He was mounted on a white

shunter, or chow, or whatever

name you like to call it.

He was mounted on a white

shunter, or chow, or whatever

name you like to call it.

He was mounted on a white

shunter, or chow, or whatever

name you like to call it.

He was mounted on a white

shunter, or chow, or whatever

name you like to call it.

He was mounted on a white

shunter, or chow, or whatever

name you like to call it.

He was mounted on a white

shunter, or chow, or whatever

name you like to call it.

He was mounted on a white

shunter, or chow, or whatever

name you like to call it.

He was mounted on a white

shunter, or chow, or whatever

name you like to call it.

He was mounted on a white

shunter, or chow, or whatever

name you like to call it.

He was mounted on a white

shunter, or chow, or whatever

name you like to call it.

He was mounted on a white

shunter, or chow, or whatever

name you like to call it.

He was mounted on a white

shunter, or chow, or whatever

name you like to call it.

He was mounted on a white

shunter, or chow, or whatever

name you like to call it.

He was mounted on a white

shunter, or chow, or whatever

name you like to call it.

He was mounted on a white

shunter, or chow, or whatever

name you like to call it.

He was mounted on a white

shunter, or chow, or whatever

name you like to call it.

He was mounted on a white

shunter, or chow, or whatever

name you like to call it.

He was mounted on a white

shunter, or chow, or whatever

name you like to call it.

He was mounted on a white

shunter, or chow, or whatever

name you like to call it.

He was mounted on a white

shunter, or chow, or whatever

name you like to call it.

He was mounted on a white

shunter, or chow, or whatever

name you like to call it.

He was mounted on a white

shunter, or chow, or whatever

name you like to call it.

He was mounted on a white

shunter, or chow, or whatever

name you like to call it.

He was mounted on a white

shunter, or chow, or whatever

name you like to call it.

He was mounted on a white

shunter, or chow, or whatever

name you like to call it.

He was mounted on a white

shunter, or chow, or whatever

name you like to call it.

He was mounted on a white

shunter, or chow, or whatever

name you like to call it.

He was mounted on a white

shunter, or chow, or whatever

name you like to call it.

He was mounted on a white

shunter, or chow, or whatever

name you like

## ◆最大の発行部数を誇る現代イギリス高級紙◆

20世紀に入ると大衆紙との競争に晒され、テレグラフの発行部数は一時的に低迷しますが、1937年には1772年創刊のモーニング・ポストを買収、その後、第二次大戦直前にチャーチル入閣を支持し、発行部数を急増させます。以後、現在に至るまでイギリス高級紙では最大の発行部数を維持しています。

**詳細検索画面**

発行年、記事欄、図版の種類等、絞込み機能を使って探している記事にたどり着くことができます。

**検索結果画面**

**文書表示画面**

イメージビューワ機能が充実しています。

掲載商品のすべてのコンテンツと機能をお試しいただける1ヶ月の無料トライアルを受け付けております。  
掲載の商品・サービスに関するお申し込み、お問い合わせは、株式会社 紀伊國屋書店 学術情報商品部 電子商品課（電話:03-6910-0518、ファクス:03-6420-1359、e-mail:[online@kinokuniya.co.jp](mailto:online@kinokuniya.co.jp)）までお願い致します。

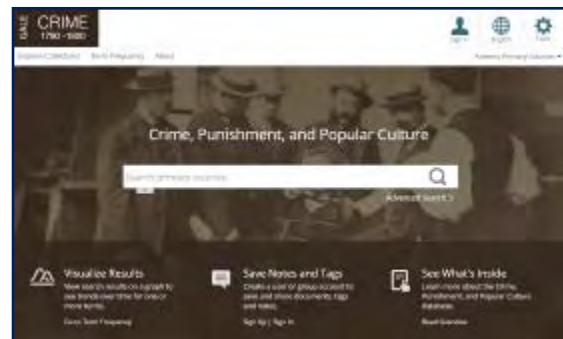
お預かりした個人情報は、弊社規定の「個人情報取扱方針」<http://www.kinokuniya.co.jp/06f/gaiyo6.htm>に則り、取り扱わせて頂きます。

## 犯罪、刑罰、大衆文化 1790-1920

### Crime, Punishment, and Popular Culture, 1790-1920

センゲージ ラーニング株式会社

政治、経済、国際関係、社会、文学、宗教、芸術、科学、技術が大きく変化した 19 世紀、犯罪と刑罰の領域にも変革の波が押し寄せました。本データベースは、裁判資料、刑務所関係資料、警察資料、刑法文献、大衆小説等を通じて、犯罪と刑罰の変化のプロセスに様々な角度から光を当てます。19 世紀の資料が大半を占め、Gale の 19 世紀史料コレクション Nineteenth Century Collections Online の 12 のユニット(アーカイブ)を補完するデジタル・コレクションです。



※本データベースのタイトル表記では”1790-1920”となっていますが、その前後の時代の資料も収録されています。

#### ◆19世紀の刑務所改革に迫る一次資料群◆

本データベースが収録する1番目の資料群は、ペンシルベニアやニューヨーク等の刑務所、監獄規律協会発行の報告書等、19世紀の刑務所改革の実態に迫る資料群です。

啓蒙主義の影響の下、18世紀後半から19世紀にかけての欧米では、従来の身体に苦痛を与える身体刑から自由を束縛する自由刑へと、刑罰の改革が進みました。刑務所への収容が一般的になるにつれ、人々の目は刑務所の劣悪な環境に注がれるようになり、囚人の更生に適した刑務所とは何かという問題意識の下、数々の刑務所改革が実施に移されます。アメリカでは、クエーカー教徒の主導の下、囚人の更生に望ましいとの考えから、独居房へ隔離する刑務所の建設が進みました。

#### ◆18世紀から20世紀前半までの250年間に亘る犯罪と刑事裁判資料の大コレクション◆

本データベースが収録する2番目の資料群は、イギリスとアメリカの刑事裁判資料です。窃盗、恐喝、強盗、殺人から扇動、通貨偽造、さらには艦船反乱、逃亡奴隸隠匿まで、膨大な数の刑事事件について、起訴から証言、証拠、弁論、判決までの過程を詳細に辿り、18世紀から20世紀前半までの250年間に亘る犯罪と刑事裁判の全貌を明らかにします。犯罪の発生原因を追求する刑事裁判の資料は、犯罪と刑罰の歴史を超えて民衆の世界を垣間見せてくれます。

#### ◆19世紀の刑法改革資料◆

19世紀には、欧米諸国で刑法が改革され、刑法典が整備されました。本データベースが収録する3番目の資料群は、フランスとイタリアを中心とする欧米各国の刑法改革資料です。フランス革命期の刑事裁判所資料、19世紀のフランス刑法のモノグラフや教科書、19世紀のイタリア刑法学の文献等を通して、犯罪と刑罰に関する19世紀の法学に接近します。

#### ◆伝説的犯罪者や西部開拓時代の有名キャラクターを主題にした通俗小説や回想録◆

19世紀には犯罪者を主題にした通俗小説や回想録が多数出版されました。犯罪者は大衆の想像力に強く訴え、その後の探偵小説に大きな影響を及ぼしました。また、アメリカでは西部開拓者の中から、後の西部劇や小説にインスピレーションを与えるアメリカン・ヒーローの原型が現れました。本データベースの4番目の資料群は、ヴィドック、ディック・ターピン、ジョナサン・ワイルドら伝説的犯罪者を主題にした通俗小説や回想録、バッファロー・ビルやキット・カーンら西部開拓時代の有名キャラクターを主題にした通俗小説です。

## 【収録コレクション】

■ Nineteenth Century Crime: Literature, Reports, and True Crime from the American Antiquarian Society

(19世紀の犯罪:アメリカ稀観書協会所蔵)

- 年代:1750年-1923年
  - 収録資料:モノグラフ、マニュスクリプト
  - 言語:英語
  - 原本所蔵機関:アメリカ稀観書協会

本コレクションは、18世紀半ばから20世紀初頭にかけてのアメリカにおける犯罪や刑罰に関する歴史資料、犯罪、冒険、戦争をテーマにした小説、判例や法令等の法律資料等を収録します。18世紀後半から19世紀前半にかけて、各地で

”penitentiary”(贖罪施設)と呼ばれる刑務所が設立され、19世紀後半になると近代的な更生施設が設立されました。犯罪や刑罰に関する歴史資料としては、州が運営する初期の監獄の状況を記述したもの、独房監禁の拡張を説いたもの、警察の活動を報告する資料、懲役の実態を詳細に記述したもの、精神障害者の隔離施設の建設を説いたものなど、多岐に亘ります。

### ＜収録報告書の例＞

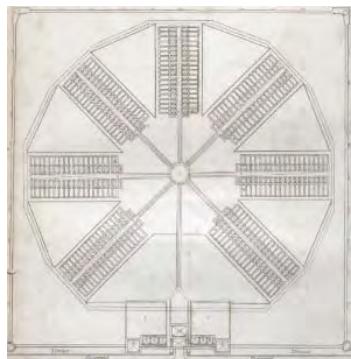
- ・ ペンシルベニアアイースタン州立刑務所検察官年次報告書
  - ・ ボストン監獄規律協会理事会年次報告書
  - ・ アルバニー刑務所年次報告書
  - ・ メリーランド刑務所所長年次報告書
  - ・ ニューヨークマグダレン協会理事会年次報告書
  - ・ ニューヨーク精神病院院長年次報告書



## ペンシルベニア州立イースタン刑務所 (Eastern State Penitentiary)



## ニューヨーク州立シング・シング刑務所 (Sing Sing State Prisons)



イースタン刑務所設計プラン

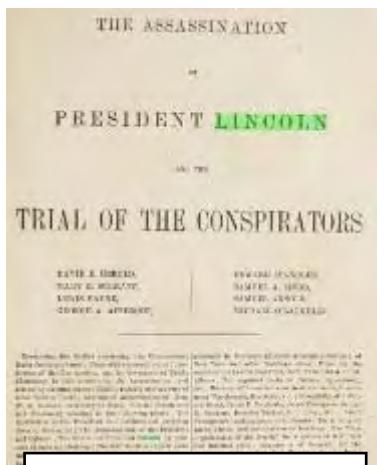


## ニューヨーク州立オバーン刑務所 (Auburn State Prison)

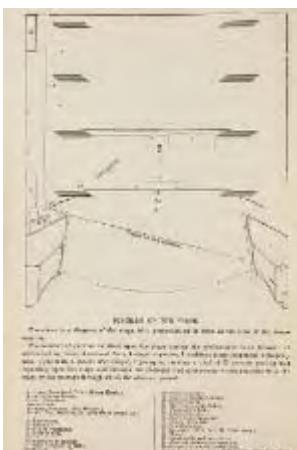


## ニューヨーク州立クリントン刑務所 (Clinton State Prison)

1856 年にペンシルベニア州立イースタン刑務所が受け入れた囚人に関する刑を  
宣告した裁判所と罪状の対照表  
(*Twenty-Eighth Annual Report of the Inspectors of the Eastern State*  
Penitentiary, 1856, p. 11, 表記)



リンカーン暗殺事件の裁判記録の冒頭ページ



暗殺現場の位置関係を再現したダイアグラム



容疑者の写真

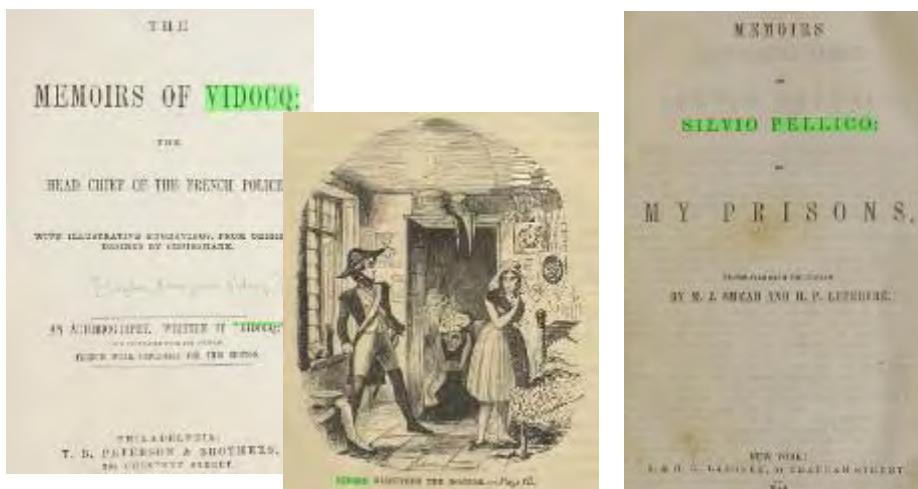
(The Assassination of President Lincoln and the Trial of the Conspirators 所収)



イギリスの有名な犯罪者名鑑ニューゲート・カレンダー

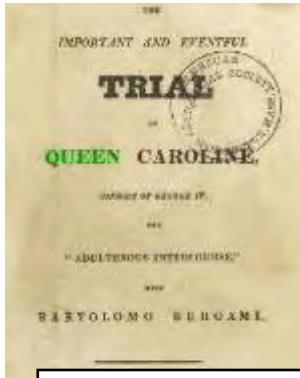


大衆文学の定番ジャンル、死刑囚の最後の告白。  
裁判経過に死刑囚の最後の告白が付されるというのが定型。



伝説的犯罪者を主題にした作品。

左:『ヴィドック回想録』とその挿絵(クルックシャンク) 中:シルヴィオ・ペリコの『回想録』 右:『ディック・ターピンとジャック・シェパードの生涯』



ジョージ4世王妃キャロライン離婚裁判の年(1820年)に刊行された裁判記録



裁判所に向かうキャロラインの行列



キャロラインの不倫相手とされたイタリア人、バルトロメオ・ペルガミ

## ■Crime and Justice in Europe: Manuscripts from the British Library

(ヨーロッパにおける犯罪と刑事裁判:大英図書館所蔵マニユスクリプト集成)

- ・ 年代:1786年-1900年
- ・ 収録資料:マニユスクリプト
- ・ 言語:英語
- ・ 原本所蔵機関:大英図書館

本コレクションの中心資料はイギリスの巡回裁判の訴訟名リストで、手書きの注釈も含まれます。注釈には事件の目撃者証言、刑務所委員会の委員名もあり、19世紀イギリスの裁判の実情や求刑する治安判事の思考プロセスが垣間見える貴重な資料です。コレクションの中には、自然の光が浴びられる刑務所建設案などの人道的刑務所改革案のほか、女性用の囚人服など、刑務所の生活をあらゆる点から照射する資料を含みます。また、警察の起源とされるボウ・ストリート・ランナーを創設した刑法の改革者、サー・ジョン・フィールディングが執筆した「ロンドン近郊20マイル以内での窃盗防止案」(1751)、「ニューカッスル公により着手された警察の起源と効果」(1758)のほか、大陪審、治安判事、浮浪罪、刑務所改革などに関するパンフレット類を収録します。

## ■Crime, Criminology and Civil Liberties: Archives of the Howard League for Penal Reform, The Howard Journal (犯罪、犯罪学、市民の自由:ハワード刑事改革連盟アーカイブ、ハワード・ジャーナル)

- ・ 年代:1921年-1976年
- ・ 収録資料:雑誌
- ・ 言語:英語
- ・ 原本所蔵機関:Primary Source Media

イギリスのハワード刑事改革連盟は、世界最古の刑事改革の団体で、ハワード協会と刑事改革連盟が1921年に合併する形で創設されました。本コレクションは、1921年から1976年までの同連盟のアーカイブ資料を収録します。

コレクションの中核をなすのは、刑務所改革運動のパイオニア、ジョン・ハワードに因んで命名された連盟の機関紙、ハワード・ジャーナルです。同誌は予防拘禁、懲役刑、自殺、独房監禁、グループワーク、治療共同体、精神疾患の治療、矯正、刑期満了後の更正指導、刑務所内の食事、死刑など、刑罰の哲学的側面や実務的側面を扱う記事を多数収録するほか、刑務所におけるアルコール中毒者、性犯罪者、少年、児童、母親の処置についても考察を加えています。また、海外への関心も高く、アメリカ、カナダ、インド、中国、プロシア、ロシア、ハンガリー、ビルマ、南アフリカ、ニュージーランドの刑罰制度の比較が試みられています。さらに、刑事制度の当事者である警察、公選弁護人、刑務所内の医者や精神科医についても考察が加えられています。記事以外では、イギリスやその他の国々の犯罪統計を収録しています。

## ■Journal of Prison Discipline and Philanthropy, 1845-1920(監獄の規律と慈善雑誌)

- ・ 年代:1845 年-1920 年
- ・ 収録資料:雑誌
- ・ 言語:英語
- ・ 原本所蔵機関:Primary Source Media

本コレクションは、フィラデルフィア公立刑務所待遇改善協会(後のフィラデルフィア刑務所協会)の機関紙と所蔵資料を収録します。同協会は、フィラデルフィア公立刑務所の収監者の待遇を改善するために、ベンジャミン・フランクリンやベンジャミン・ラッシュらフィラデルフィアの啓蒙市民により 1787 年に設立されました。1845 年には、囚人の取扱に関する様々な問題を広く一般に周知することを目的として、機関誌「監獄の規律と慈善雑誌(Journal of Prison Discipline and Philanthropy)」を創刊しました。同誌は、犯罪や刑罰に関する理論的考察、監獄の状態に関するルポルタージュ、囚人からの書簡、会員の刑務所訪問記など、様々な記事を掲載したほか、女性、青少年、精神障害者の囚人の取扱について問題提起を行ない、独居房、死刑、陪審員制度、独房監禁、刑務所創作教育、模範囚の刑期短縮、囚人の社会復帰計画などの問題に考察を加えています。また、ジョン・ハワードやメアリー・カーペンターライギリス人の監獄改革論や、アイルランド、ロシア、ベルギーの監獄制度についても議論・分析しています。



独居房

## ■The Cleveland Workhouse and House of Refuge and Correction Records, 1855-1950

(クリーブランド感化院、難民収容所、矯正記録、1855-1950)

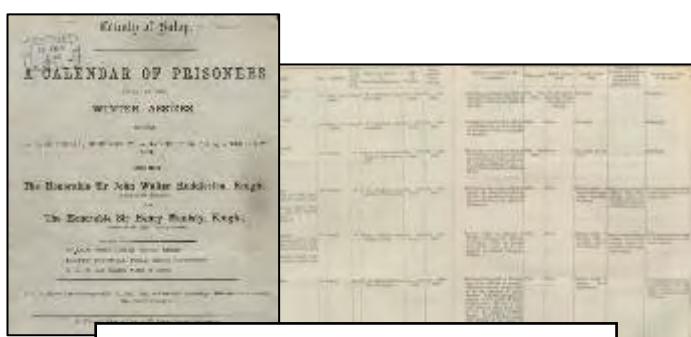
- ・ 年代:1855 年-1950 年
- ・ 収録資料:マニュスクリプト 114 タイトル
- ・ 言語:英語
- ・ 原本所蔵機関:Primary Source Media

## ■Crime and the Criminal Justice System: Records from The U.K. National Archive

(犯罪と刑事司法システム:イギリス公文書館所蔵記録集)

- ・ 年代:1780 年-1932 年
- ・ 収録資料:モノグラフ、マニュスクリプト
- ・ 言語:英語
- ・ 原本所蔵機関:英国公文書館

18 世紀初頭のイギリスでは、犯罪の大半は当事者間で私的に扱われ、一部の重大犯罪に限り、裁判所に持ち込まれました。しかし 18 世紀末、犯罪の水準がエスカレートするにつれ、刑事司法制度の近代化が推進されました。本コレクション収録資料は、裁判所や刑務所、治安維持当局の内情に迫り、刑事司法制度が近代化したプロセスを詳細に解き明かします。刑務所囚人総覧(Calendars of Prisoners)という台帳には、囚人毎に、年齢、職業、教育水準、犯罪、判決、宣告された刑、収容刑務所名が記載されています。そのほか、特定の事件に関する裁判所意見を時系列に並べた台帳、陪審員の台帳、特定の刑務所の囚人台帳、殺人事件の摘要、刑の宣告に関する裁判所への勧告など、様々な資料を収録します。さらに、1859 年のアイルランド警察操典には、分隊形から敬礼まであらゆる項目の解説が記載されており、巡査や治安判事の業務を規制する法律を集めた『王立アイルランド警察法集成 1836-1885』がこれらを補います。



囚人の年齢、収容前の職業、犯罪、判決、宣告された刑、収容刑務所名等を囚人毎に記載した囚人台帳

**■Law, Crime, and Society in Hanoverian England: The Old Bailey Proceedings, 1714-1820**

(ハノーヴァー朝イングランドにおける法、犯罪、社会:オールド・ベイリー裁判記録集)

- ・ 年代:1714 年-1834 年
- ・ 収録資料:モノグラフ 132 タイトル
- ・ 言語:英語
- ・ 原本所蔵機関:Primary Source Media

18世紀のイギリスでは、軽微な犯罪に対する死刑適用の是非、烙印、公開鞭打ち、公開絞首刑のような罪人に恥辱の感覚を抱かせる目的の刑罰の効果の有無など、刑法改革が盛んに論じられました。また、1742年には警察の起源とされるボウ・ストリート・ランナーズがロンドンに創設されました。

本コレクションは、1714年から1834年までのオールド・ベイリー(中央刑事裁判所)の刑事裁判の記録を収録します。軽微な窃盗から強盗、恐喝、殺人、さらには扇動罪や艦船反乱罪まで、記録された犯罪は多岐に亘ります。また、各々の裁判について、告発から提出された証拠類、証人の証言、判決による結審までの全過程が記録されています。

これらの裁判記録は、法制史の資料であるとともに、加害者や被害者が置かれた生活環境や犯罪の動機を明らかにすることを通じて、同時代の民衆社会を垣間見せる社会史の資料としても貴重なものです。

**■Criminal Case Files of the U.S. Circuit Court(米国巡回裁判所刑事裁判ファイル)**

- ・ 年代:1789 年-1897 年
- ・ 収録資料:マニュスクリプト
- ・ 言語:英語
- ・ 原本所蔵機関:米国公文書館

本コレクションは、連邦裁の第 2 巡回区控訴審(ニューヨーク南部)、第 3 巡回区控訴審(ペンシルヴァニア)、第 4 巡回区控訴審(メリーランド)のうち、1790 年から 1845 年にかけて行われた刑事裁判の資料を収録します。訴状、口頭弁論、宣誓供述書、事実認定などが含まれます。海賊行為、公海上の船舶における暴動、奴隸貿易、逃亡奴隸の隠匿、通貨偽造や文書偽造、偽証、郵便物窃盗、扇動、密輸、司法妨害、合衆国の友好国への侵略共謀など、当時の社会で大きな関心を呼んだあらゆる犯罪が対象となっています。また、船舶の不法な艤装や武装、無免許通商、關稅の脱税などに関する裁判も含まれています。

本コレクションには、海上での犯罪に関する裁判記録が多数収録されていますが、これは 19 世紀前半のアメリカにおける海事活動の重要性を示しています。公海上の犯罪が発生した地域は、フランス、メキシコ、キューバから南米スペイン領(現ベネズエラ)、アフリカ海岸まで広範囲に及びます。また、裁判資料からは、船長による船員の鞭打ちや拘留のための船舶内の営倉など、当時の船舶生活的一面を知ることもできます。さらに、奴隸輸送船の状態に関する記録も含まれています。

**■FBI File on Sacco/Vanzetti(サッコ・バンゼッティ裁判 FBI ファイル)**

- ・ 年代:1921 年
- ・ 収録資料:マニュスクリプト
- ・ 言語:英語
- ・ 原本所蔵機関:Primary Source Media

本コレクションは、イタリア生まれのアナキスト、ニコラ・サッコとバルトロメオ・バンゼッティの裁判に関する FBI のファイルを収録します。サッコとバンゼッティの支援者(支援委員会)による物的証拠の公開請求と、請求を拒否する連邦政府の根拠に関し、FBI と司法省内部で行われた議論を明るみにします。内部メモの一つによれば、エドガー・フーパー FBI 長官は、サッコとバンゼッティの有罪はマサチューセッツ州だけに関わることであり、事件に関する FBI のファイルは事件そのものには何ら関係を持たないものである旨、報道機関向けに声明を出すよう、ジョージ・ファーナム司法長官代理に要請するとともに、支援委員会の委

員を国外退去させるために法的根拠を探るよう依頼していたことが記録されています。本コレクションは、ヨーロッパの共産主義者と無政府主義者によるサッコ・バンゼッティ事件への報復爆撃事件を受けて、アメリカ大使館を監視していた秘密情報員からの報告、事件の新聞報道の切り抜きも収録されています。

#### ■Trial and Execution of Sacco and Vanzetti(サッコとバンゼッティの裁判と処刑)

- ・ 年代:1920年-1926年
- ・ 収録資料:モノグラフ
- ・ 言語:英語
- ・ 原本所蔵機関:Primary Source Media

#### ■Conspiracy Trials in America, 1919-1953(アメリカにおける共産主義裁判)

- ・ 年代:1919年-1953年
- ・ 収録資料:マニュスクリプト
- ・ 言語:英語
- ・ 原本所蔵機関:Primary Source Media

20世紀初頭、アメリカでは共産党が台頭する一方で、共産主義者に対する弾圧や訴追が広範囲に発生しました。本コレクションは、アメリカ政府の共産党とその支持者に対する告発と訴訟の記録を収録します。

ロシアへのアメリカ軍の派遣を批判するパンフレットを流布したことによりアナーキスト、ジェイコブ・エイブラムズらロシアからの移民が扇動罪で告発された「エイブラムズ対合衆国」裁判(1919)、医師徴募法の下で軍隊に徴募された医師が、過去に共産党員であったことがないとの申立てを行なうことを拒否したために勤務を許されなかつた「オーロフ対ウイロビー」裁判(1953)の下級審の訴訟記録・最高裁での申立と上訴趣意書と意見、20人の共産主義者が政府の転覆を図ったとして訴えられ、著名な弁護士クラレンス・ダロウが弁護に立った「イリノイ対ロイド」裁判(1922)の裁判記録の抄録、共産主義を支持する著作を出版したとして「ハワイの7人」が訴えられた「合衆国対フジモト」裁判(1952)の記録などが収録されています。

#### ■Files of the Department of Justice: Judge Isaac C. Parker(司法省アイザック・パーカー判事ファイル)

- ・ 年代:1875年-1896年
- ・ 収録資料:マニュスクリプト
- ・ 言語:英語
- ・ 原本所蔵機関:米国公文書館

本コレクションは、1875年から1896年までアーカンソー州西部地区とインディアン地区の連邦地方判事の職にあったアイザック・パーカー判事の書簡と文書を収録します。パーカー判事は、その任期中に多くの無法者が絞首刑に処せられたため、西部劇では「首吊り判事」の異名をもちますが、実像は複雑で、もともと前任者の時代の汚職により地に墜ちた裁判所の評判を回復するために着任したと言われています。パーカー判事の管轄下にあったインディアン居住区では、ネイティブ・アメリカン法がインディアンに、連邦法が開拓者向けに適用され、複雑な法的状況が現出していました。

本コレクションは、アメリカのフロンティアで司法を運営するという歴史的にも特異な経験を記録しています。また、パーカー判事が判事者の更生にも力を入れ、刑務所の環境改善、刑事司法制度の改革、ネイティブアメリカ人の権利拡張に努めたことをも示しています。さらに、パーカー判事が「首吊り判事」として知られるようになった160件の死刑判決の判決文も収録されています。

## ■Letters Received by the Department of Justice from the Territory of Dakota

(ダコタ準州から米国司法省宛てに送られた書簡)

- ・ 年代:1871年-1884年
- ・ 収録資料:マニュスクリプト
- ・ 言語:英語
- ・ 原本所蔵機関:米国公文書館

## ■Nineteenth Century Crime: Manuscripts and Ephemera from the American Antiquarian Society

(19世紀の犯罪:アメリカ稀観書協会所蔵マニュスクリプト・エフェメラ)

- ・ 年代:1750年-1923年
- ・ 収録資料:マニュスクリプト 27タイトル
- ・ 言語:英語
- ・ 原本所蔵機関:アメリカ稀観書協会

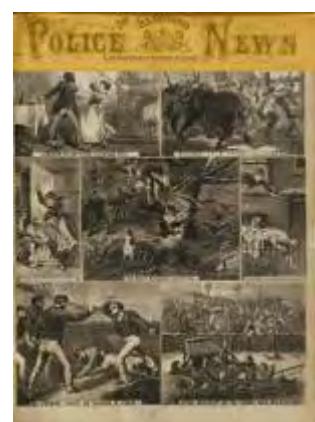
本コレクションは、弁護士、警察、保安官の記録、法案や法律、判例、経理資料、証拠や証人リスト、裁判に関する書簡等、個人、町、郡、州の法律文書を多岐にわたって収録します。不当解雇、名誉毀損、過失等の不法行為の裁判に提出された証拠類も収録されています。多くの裁判記録は、当時の未開発地域に居住する市民が直面する苦境を再現します。事業経営に関する係争や証拠類は、商業史や経営史の研究にも有益なものです。

## ■Nineteenth-Century Crime and Policing: Monographs and Newspapers from the Library of Congress

(19世紀の犯罪と警察:米国議会図書館所蔵モノグラフ・新聞コレクション)

- ・ 年代:1866年-1923年
- ・ 収録資料:モノグラフ、定期刊行物
- ・ 言語:フランス語、スペイン語
- ・ 原本所蔵機関:米国議会図書館

19世紀のアメリカでは、大都市への大量の移民の流入と西部フロンティアの急速な拡大により犯罪が急増、その結果、刑法が整備され、警察、監獄、法執行機関が創設されました。本コレクションは、犯罪や警察の活動を記録する新聞や書籍を収録します。1845年に創刊された The National Police Gazette は、「悪事さまざま(Vice's Varieties)」「殺人と自殺(Murder and Suicide)」「この邪悪な世の中(This Wicked World)」などのコラムでニューヨークの犯罪を取り上げました。The Illustrated Police News は、センセーショナルな記述と挿絵で読者の関心を引きました。



## ■Pinkerton's National Detective Agency Records, 1853-1999, Letterpress Books and Miscellaneous Reports

(ピンカートン探偵事務所記録集)

- ・ 年代:1853年-1920年
- ・ 収録資料:マニュスクリプト
- ・ 言語:英語
- ・ 原本所蔵機関:米国議会図書館

ピンカートン探偵事務所は、リンカーン大統領暗殺計画を突き止め、未然に防いだことで有名なアラン・ピンカートンによって1850年に創立されました。事務所は発展するにつれ、重大事件に関わりを持つようになります。ピンカートンは南北戦争中、北軍情報局のトップの任に就いたのをはじめ、史上初の列車強盗犯の捕獲、シカゴ大火災後の略奪の防止、ジェシー・ジェームズ、ブッ奇・キャシディ、レノ・ブラザーズ、ワイルドバンチらの悪漢の捕獲など、精力的に治安活動に取り組みました。ピンカートン事務所は、組合破りや反労働組合活動でも有名になりました。

本コレクションは、事務所がミッドウェスタン鉄道を保護し、フロンティアで名声を馳せていた初期のニューヨーク事務所の運営の実態を記録するほか、他の探偵事務所との競争の中での宣伝活動なども収録します。鉄道会社の労働組合会議、組合幹部名など、組合活動を監視した記録も収録されています。

### ■Wood Detective Agency Records, 1865-1945(ウッド探偵事務所記録集)

- 年代:1865年-1945年
- 収録資料:マニスクリプト、写真
- 言語:英語
- 原本所蔵機関:ハーバード大学法律図書館

### ■Queensland Police Gazettes(クイーンズランド警察新聞)

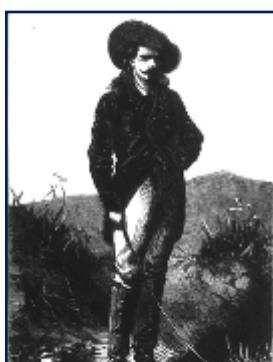
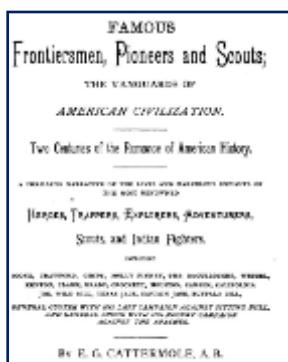
- 年代:1867年-1907年
- 収録資料:マニスクリプト
- 言語:英語
- 原本所蔵機関:オーストラリア、クイーンズランド州立図書館

Queensland Police Gazetteはオーストラリア、クイーンズランドの地方警察の内部情報誌として1864年に創刊されました。本コレクションがカバーする19世紀後半は、オーストラリアが大きく変化した時期です1867年、クイーンズランドは独立植民地になり、1901年にオーストラリアがイギリスから独立しました。同誌に掲載された犯罪一覧や逮捕状などの資料からは、転換期を迎えていたオーストラリアで何が不法な行為と見なされていたのかを窺うことができます。

### ■Western Americana: Frontier History of the Trans-Mississippi West(西部開拓:ミシシッピ川流域西部の開拓史)

- 年代:1800年-1930年
- 収録資料:モノグラフ
- 言語:英語
- 原本所蔵機関:Primary Source Media

本コレクションは、19世紀半ばから20世紀半ばにかけて、西部フロンティアを開拓した伝説的人物らの自伝や伝記、彼らを主題にしたフィクションを収録します。盗賊、殺人、先住民の征服に関する通俗的な物語がコレクションの主要な内容です。



西部開拓史上の有名人物を紹介する著作

バッファロー・ビル(Buffalo Bill)

ダニエル・ブーン(Daniel Boone)

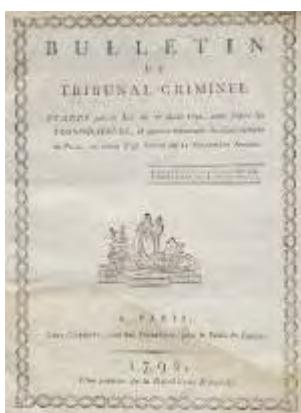
ワイルド・ビル(Wild Bill)

## ■ Crime and Justice in Europe: Monographs and Ephemera from the British Library

(ヨーロッパにおける犯罪と刑事司法:大英図書館所蔵モノグラフ・エフェメラ集成)

- 年代:1675 年-1923 年
- 収録資料:モノグラフ
- 言語:英語、フランス語、ドイツ語、イタリア語ほか
- 原本所蔵機関:大英図書館

本コレクションは、19世紀の刑法と刑事手続に関するヨーロッパ各国の著作約 1,000 タイトルを収録します。1900 年のスイス民法典草案、イタリアの 1844 年民法・刑法・教会法・商法・行政法に関する勅令、マックス・ロデリッヒ(Max Roderich)の『犯罪と刑罰:興味深い警察・刑事事件集成』(1850)、1868 年イタリアで開催された法医学の専門家のための刑法典に関する会議での講演集、宗教家ジョージ・エドワード・ビーバーによる自殺に関する説教、ドイツの犯罪小説コレクション、ニュージーランドの未開種族による殺人と肢体切断を描いた『人喰い人種による殺人(Murders by Cannibals)』に関する図版入りのブロードシートなど、大衆レベルで広範囲に受容された資料も収録されています。



『1792 年 8 月 17 日の法令により設立された刑事裁判所紀要』



『1793 年 3 月 10 日の法令により設立された革命犯罪裁判所紀要』



ギー=ジャン=バティスト・タルジェ  
『刑法典草案の考察』



ジョセフィーヌ・マレ  
『刑務所における女性』

## ■ Crime and Justice in Europe: Periodicals and Newspapers from the British Library

(ヨーロッパにおける犯罪と刑事司法:大英図書館所蔵定期刊行物と新聞集成)

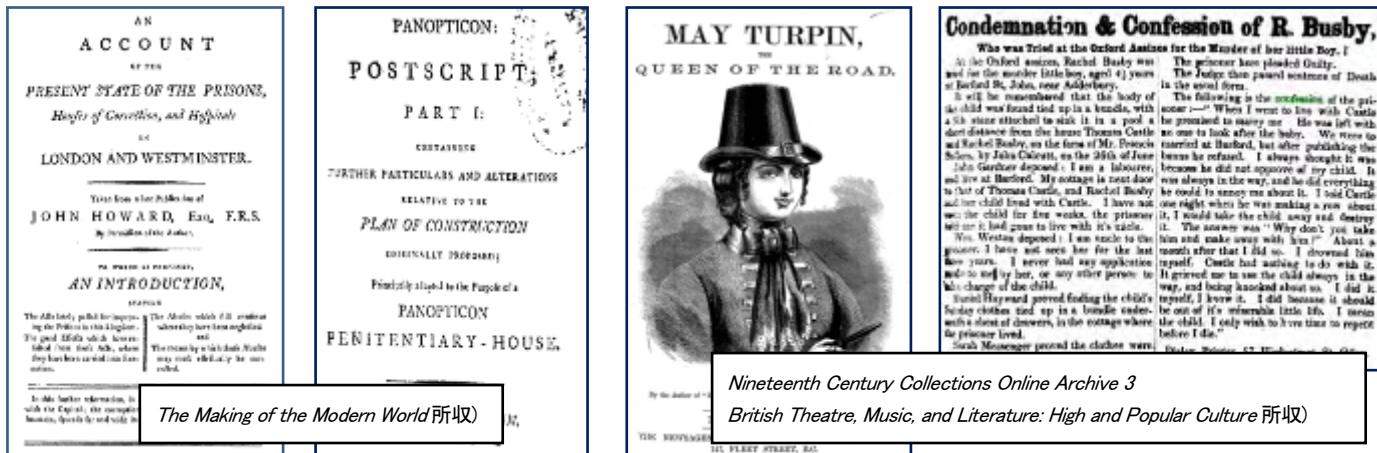
- 年代:1800 年-1923 年
- 収録資料:定期刊行物
- 言語:フランス語、イタリア語
- 原本所蔵機関:大英図書館

本コレクションは、1800 年から 1923 年までのヨーロッパにおける犯罪と刑事司法に関する定期刊行物と新聞を収録します。コレクションの中心をなすのは、1850 年から 1876 年にかけて刊行されたベネチアの雑誌 L'Eco dei Tribunali です。1848 年の革命勃発を受け、法曹家の教育と一般人の啓蒙を目的に創刊された同誌は、刑法の自由主義的改革を主張しました。また、同誌は国家の検察と裁判官の人数が過剰であることを繰り返し指摘、実務的には、刑法典と民法典の改革案を公表、既存のイタリアの法律や改革案を他国の法律と比較する作業を行ないました。また、ベネチアの刑事裁判に関する統計や具体的な犯罪に関する研究も公表、イタリア刑法の改革を主導しました。同誌は、法律や抽象的理論だけでなく、実践的な情報の提供においても際立っていました。



## ◆関連データベース◆

“Crime, Punishment, and Popular Culture”収録コンテンツの関連文献は、Galeの他データベースにも収録されています。”Nineteenth Century Collections Online”の”British Theatre, Music and Literature: High and Popular Culture”は、19世紀イギリスで出版されたブロードサイドバラッドのコレクションを、”The Making of the Modern World”は、ジョン・ハワードの『ロンドンとウェストミンスターにおける監獄の現状』やジェレミー・ベンサムの『パノプティコン』など、18世紀から19世紀にかけて出版された刑務所改革論、犯罪論、刑罰論の重要な文献を収録します。併せてご利用ください。また、これらのGaleのデータベースは、”Artemis Primary Sources”というプラットフォームで横断検索することができます。



掲載商品のすべてのコンテンツと機能をお試しいただける1ヵ月の無料トライアルを受け付けております。  
掲載の商品・サービスに関するお申し込み、お問い合わせは、株式会社 紀伊國屋書店 学術情報商品部 電子商品課（電話：03-6910-0518、ファクス：03-6420-1359、e-mail：[online@kinokuniya.co.jp](mailto:online@kinokuniya.co.jp)）までお願い致します。

お預かりした個人情報は、弊社規定の「個人情報取扱方針」<http://www.kinokuniya.co.jp/06f/gaiyo6.htm>に則り、取り扱わせて頂きます。

## 映画シナリオ・シリーズ・データベース Film Scripts Online Series

Film Scripts Online Series は、Alexander Street Press 社が提供する映画シナリオのオンライン・コレクションです。権威ある版を収録しており、映画のシナリオ・コレクションとして最も包括的なものの1つです。完成の暁には Volume I, II あわせて 1,500 の脚本を収録予定です。本コレクション収録のシナリオの大半はこれまで出版されたことがなく、他では入手不可能なものです。

Warner Bros., Sony, RKO, MGM その他の主要な映画スタジオや、Faber & Faber, Newmarket Press, Penguin Putnam, StudioCanal, Vintage Anchor などの権利保有者、Paul Schrader, Lawrence Kasdan, Gus Van Sant, Neil LaBute, Oliver Stone その他多くの脚本家との契約により、ご提供可能になりました。



さらに、シナリオの詳細な書誌情報や、ディレクター、脚本家の経歴情報も収録、数十年におよぶ映画と映画文化の探求を可能にします。大衆文化、映画、多様性、ジェンダー、言語、言語学、脚本、アメリカ史、人類学、社会学、心理学その他の研究分野で幅広くご活用ください。

本シリーズは、2つの Volume より構成されています。

- American Film Scripts: Volume I

古典的な作品を含むアメリカの映画のシナリオ 1,000 点を収録します。

- Film Scripts Online: Volume II

収録範囲はより国際的になり、古典から現代作品まで対象を拡げています。完成の暁には 500 点の映画のシナリオを収録予定です。

シナリオ表示画面

※Film Classics シリーズ(モノグラフ)

Volume II には、英国映画協会(British Film Institute)出版のモノグラフ、Film Classics シリーズの電子版が収録されています。本シリーズは、映画の製作と受容史、古典とみなされるゆえん、作者、脚本家の映画作品に対する個人的な反応、評価などを知る機会を提供します。

■作品例

- Citizen Kane (Orson Welles)
- Vertigo (Alfred Hitchcock)
- Throne of Blood(黒澤 明 『蜘蛛巣城』)
- Dr. Strangelove(Stanley Kubrick)
- 8½ (Federico Fellini)      他

Film Classicsシリーズ

## American Film Scripts: Volume I 収録シナリオ例

- From Here to Eternity
- Double Indemnity
- Boogie Nights
- Mr. Smith Goes to Washington
- Some Like It Hot
- The Big Chill
- The Lady from Shanghai
- His Girl Friday
- Night of the Hunter
- The Wizard of Oz
- The Last Temptation of Christ
- The Searchers
- Singin' in the Rain
- Sunset Boulevard
- The Spanish Prisoner
- Ben Hur
- It Happened One Night
- Twelve Monkeys
- Casablanca
- Urban Cowboy
- Rebel Without a Cause
- American Gigolo
- Broadcast News
- The Hustler
- Raging Bull
- Witness
- North by Northwest
- The Maltese Falcon
- In the Line of Fire
- Mean Streets
- Unforgiven
- The Last Detail
- Nashville
- Blade Runner
- Taxi Driver
- King Kong
- State and Main
- Out of the Past
- Suspicion
- Hotel Rwanda
- The African Queen
- Swing Time
- Span' glish
- Mr. Deeds Goes to Town
- The Magnificent Ambersons
- Gods and Monsters
- Predator
- Fury
- Ararat
- Trading Places
- The Sting
- Black Hawk Down
- Platoon

## Film Scripts Online: Volume II 収録シナリオ例（括弧内はディレクター名）

- Cross of Iron (Sam Peckinpah)
- Deer Hunter (Michael Cimino)
- The Elephant Man (David Lynch)
- The Third Man (Carol Reed)
- Hobson's Choice (David Lean)
- The Ladykillers (Alexander Mackendrick)
- The Man Who Fell to Earth (Nicolas Roeg)
- Kind Hearts and Coronets (Robert Hamer)
- Leaving Las Vegas (Mike Figgis)
- Murder on the Orient Express (Sidney Lumet)
- Bringing Up Baby (Howard Hawks)

**詳細検索画面**

全文検索はもとより、脚本家、出演者、取り上げられている人物、出来事、場所など、きめ細かな検索項目が用意されています。

掲載商品のすべてのコンテンツと機能をお試しいただける1ヵ月の無料トライアルを受け付けております。掲載の商品・サービスに関するお申し込み、お問い合わせは、株式会社 紀伊國屋書店 学術情報商品部 電子商品課（電話:03-6910-0518、ファクス:03-6420-1359、e-mail:[online@kinokuniya.co.jp](mailto:online@kinokuniya.co.jp)）までお願い致します。

お預かりした個人情報は、弊社規定の「個人情報取扱方針」<http://www.kinokuniya.co.jp/06f/gaiyo6.htm>に則り、取り扱わせて頂きます。

## 世界中の地図情報・GIS データをお手元に

### 北朝鮮、初の水爆実験？関連 GIS 製品のご案内



正式名称：朝鮮民主主義人民共和国 Democratic People's Republic of Korea

面積：約 12 万 538km<sup>2</sup>

人口（2008）：約 2405 万人

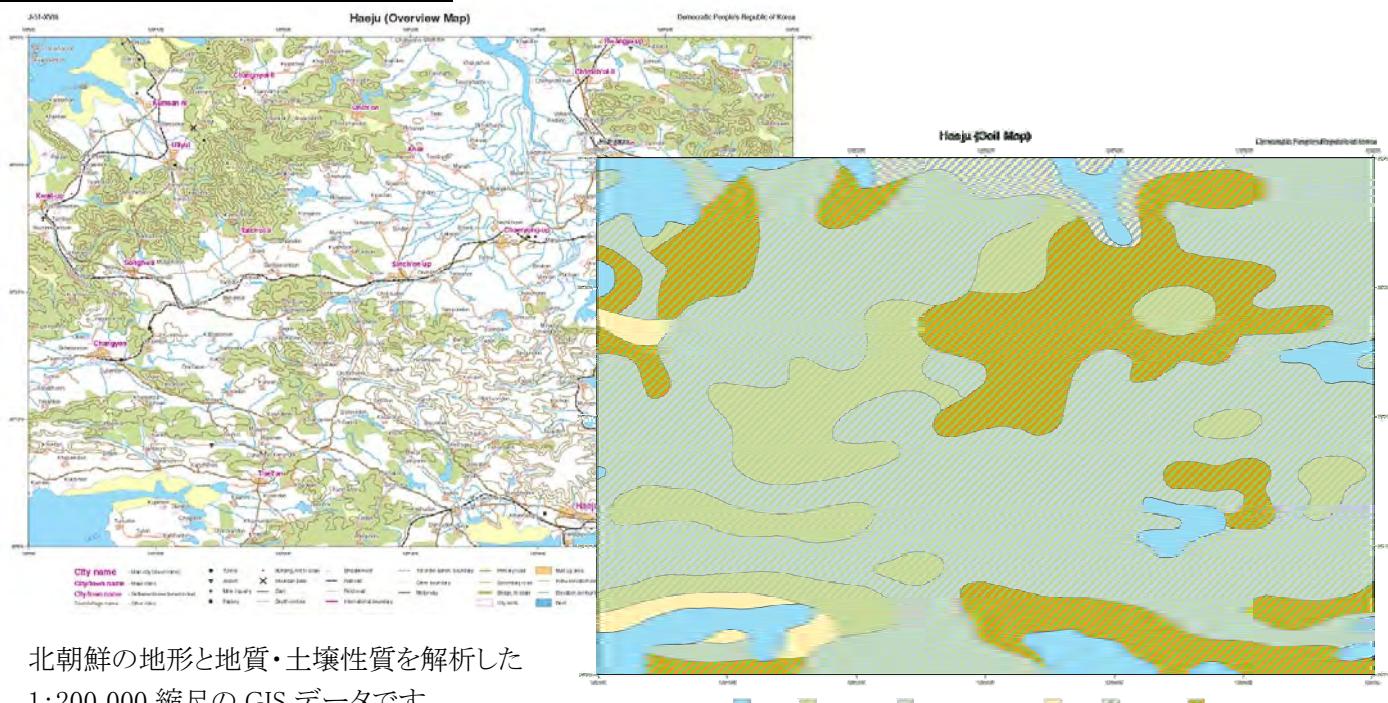
首都：平壌 P'yōngyang (日本との時差なし)

主要言語：朝鮮語

通貨：ウォン Wōn

2016 年 1 月 6 日 10 時 30 分、北朝鮮が地下核実験場で初の水爆実験を行ったと発表。日本でも爆発による地震波が検知され、その位置は、過去にも地下核実験が行われた豊渓里(プンゲリ)地下核実験場(北緯 41. 6、東経 129. 2)であることも判明。今回は、これに関連する GIS 製品をご紹介します。

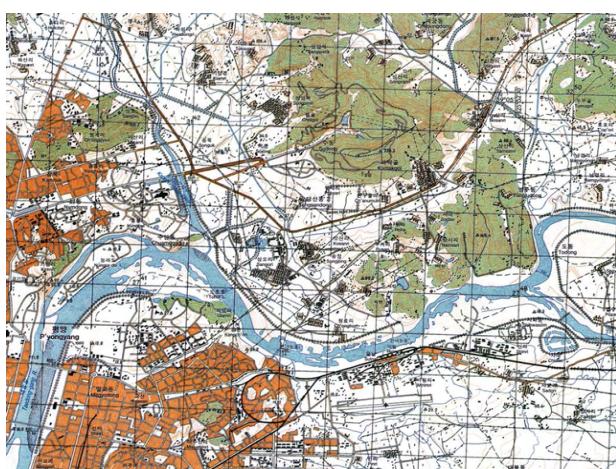
#### ◆北朝鮮／Terrain Analysis Data◆



北朝鮮の地形と地質・土壤性質を解析した  
1:200,000 縮尺の GIS データです。

北朝鮮全般の地形傾向と、各都市がどのような自然環境の上にあり、道路や鉄道がどのように走っているかを知ることができます。

#### ◆EVG 製、北朝鮮 1:50,000 地形図◆



- ・ラスター(電子画像データ)版

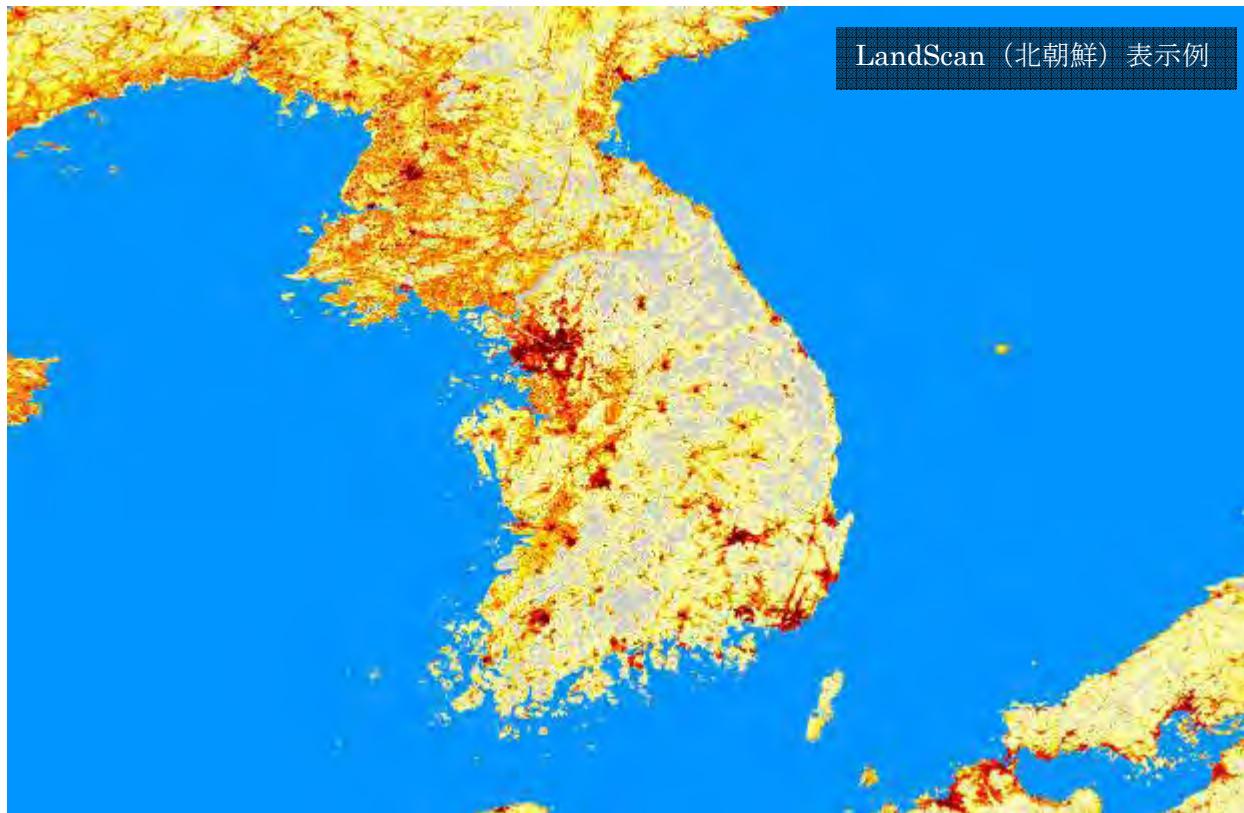
NK52-8-38、NK52-8-46 \*1980 年製

- ・ベクター(解析用 GIS データ)版

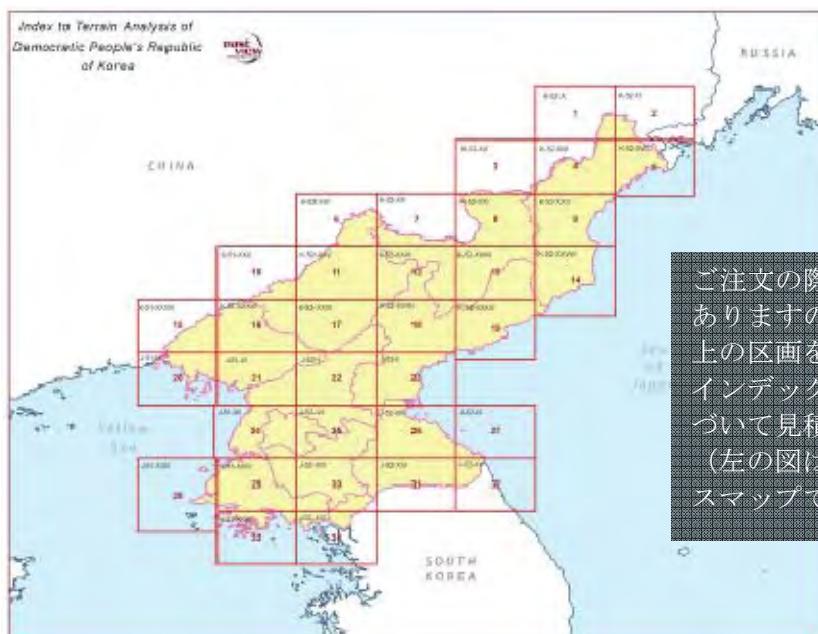
K-52-103-B、K-52-103-G \*2008 年製

**◆人口動態データ LandScan◆**

国勢調査に依らないリアルな人口データとして高く評価されている LandScanですが、最新版は2014年版です。アーカイブ版は2000年から2013年を取り揃えており、北朝鮮全域もカバーしています。約1キロメッシュ単位で北朝鮮全域の人口を知ることができます。



そのほか北朝鮮エリアの製品は多数ございます。詳細は別途お問い合わせください。



ご注文の際は、エリアを限定していただく必要がありますので、該当のインデックスマップ（販売上の区画を記した図）をお送りいたします。  
インデックスマップ上のご希望のシート番号に基づいて見積もり金額をご提示いたします。  
(左の図はTerrain Analysis Dataのインデックスマップです。)

掲載の商品・サービスに関するお申し込み、お問い合わせは、株式会社 紀伊國屋書店 学術情報商品部  
(電話:03-6910-0518、ファクス:03-6420-1359、e-mail:[online@kinokuniya.co.jp](mailto:online@kinokuniya.co.jp)) までお願い致します。  
お預かりした個人情報は、弊社規定の「個人情報取扱方針」<http://www.kinokuniya.co.jp/06f/gaiyo6.htm> に則り、取り扱わせて頂きます。

## 世界中の地図情報・GIS データをお手元に

### イラン関連 GIS 製品のご案内



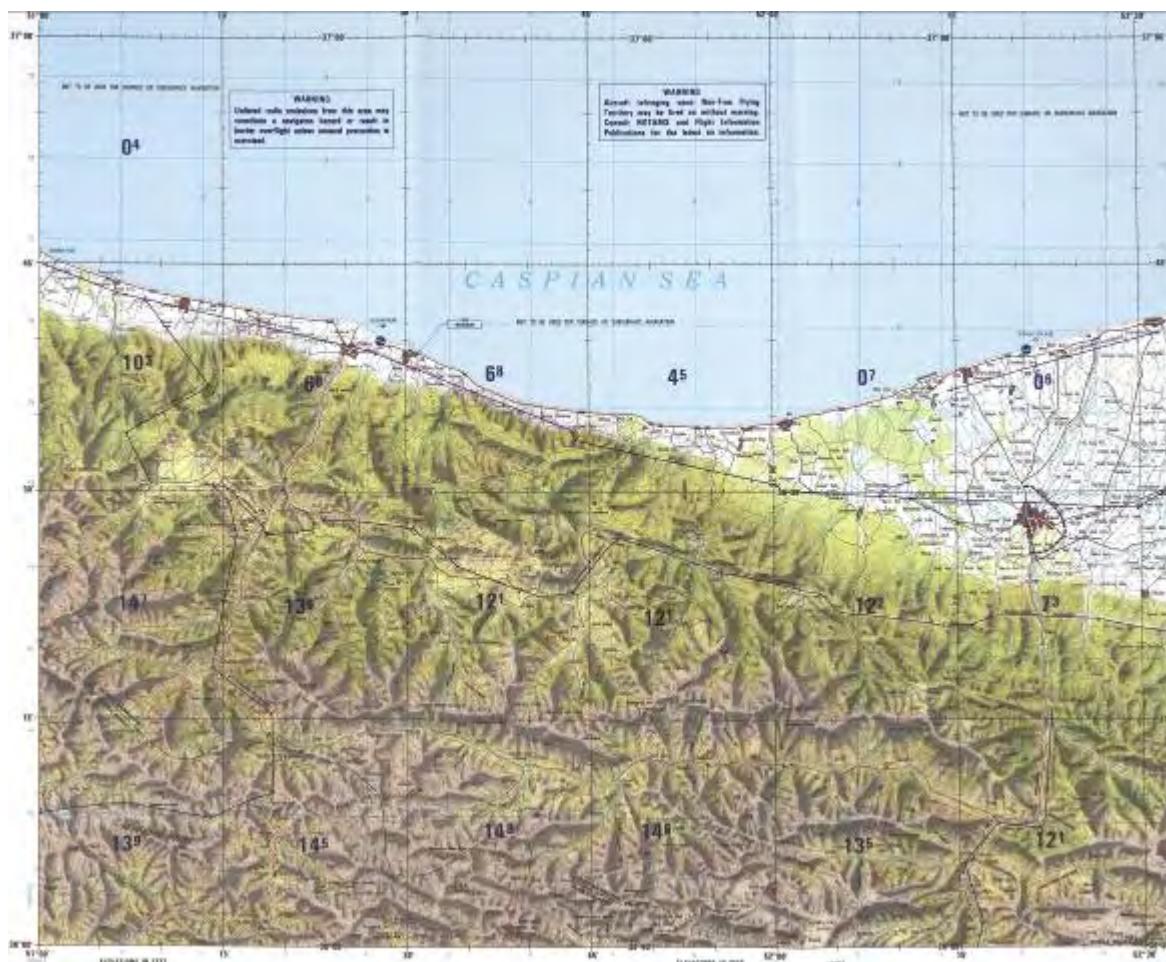
正式名称：イラン・イスラム共和国  
 面積：164 万 8195km<sup>2</sup>  
 人口（2010）：7434 万人  
 首都：テヘラン Teheran  
 （日本との時差＝-5.5 時間）  
 主要言語：ペルシア語、アゼルバイジャン語、  
 クルド語  
 通貨：イラン・リアル

核兵器開発疑惑から始まった欧米諸国の対イラン経済制裁が解除され、  
 イランへの国際的注目が集まっています。

同時に、イスラム国家同士の対立がイラン／サウジアラビア間で激化して  
 新たな火種ともなっています。弊社ではイラン関連の各種 GIS 製品を  
 取り揃えていますので、お気軽にお問い合わせください。

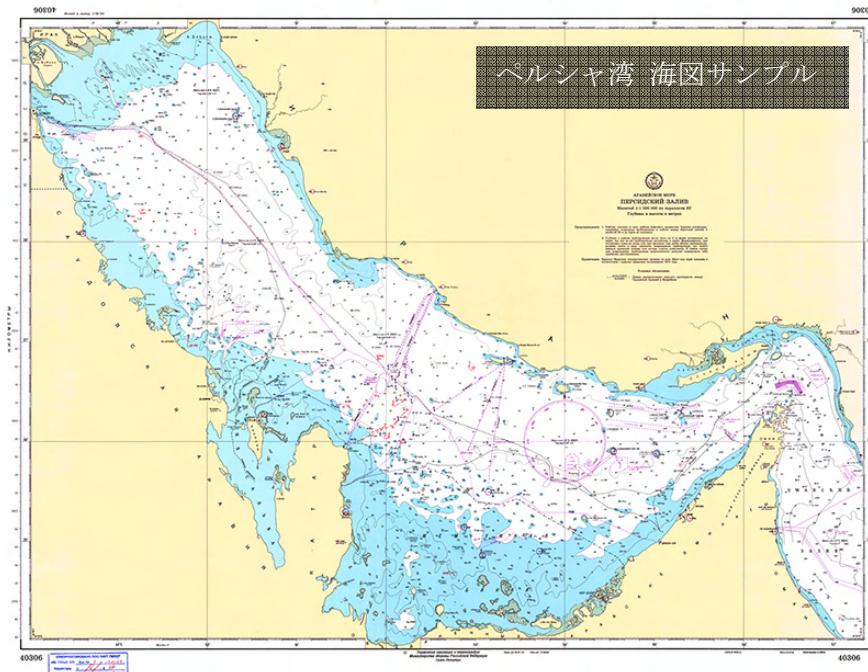


◆イラン 1:50,000 縮尺地形図、1:250,000 縮尺地形図、1:250,000 縮尺地質図、1:250,000 縮尺土壤図、  
 1:1,000,000 縮尺イラク・イラン西部地質図◆



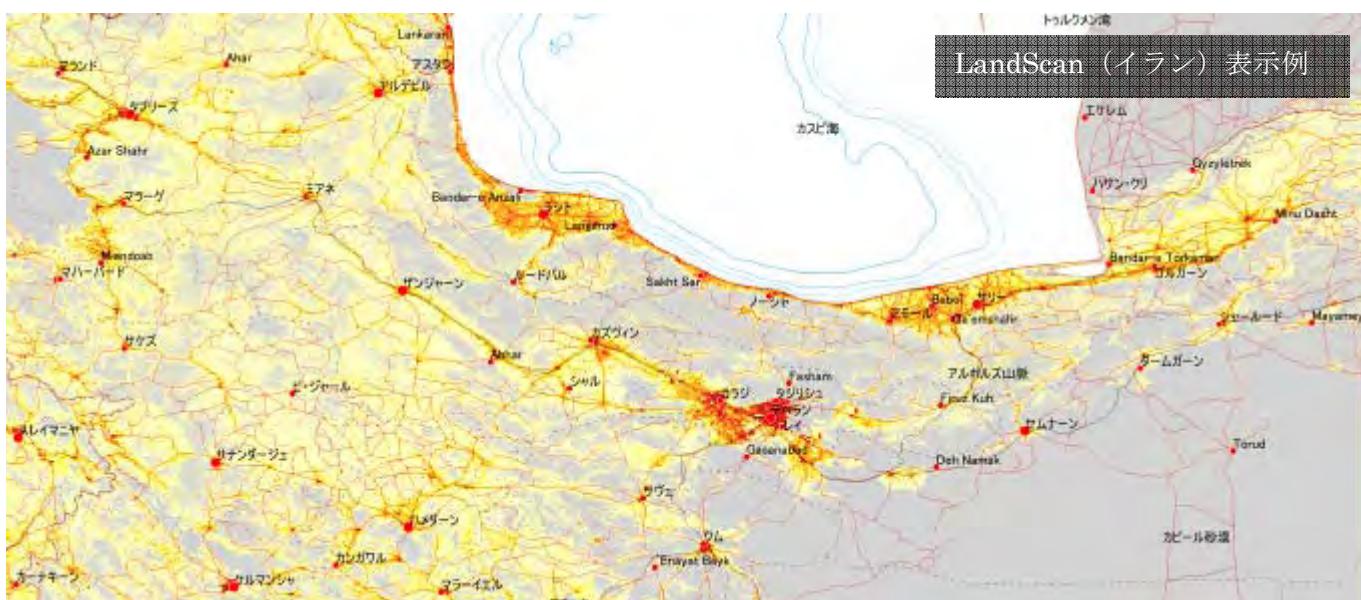
1:250,000 縮尺地形図サンプル

◆海図(ペルシャ湾、アラビア海各種)◆



◆人口動態データ LandScan (イラン)◆

国勢調査に依らないリアルな人口データとして高く評価されている LandScan ですが、最新版は 2014 年版です。アーカイブ版は 2000 年から 2013 年を取り揃えており、イラン全域もカバーしています。約 1 キロメッシュ単位でイラン全域の人口を知ることができます。



そのほか 1:250,000 縮尺地形図、LandScan など、イランと緊張関係の続くサウジアラビア関連の GIS 製品も多数ございます。詳細は別途お問い合わせください。

掲載の商品・サービスに関するお申し込み、お問い合わせは、株式会社 紀伊國屋書店 学術情報商品部  
(電話:03-6910-0518、ファクス:03-6420-1359、e-mail:[online@kinokuniya.co.jp](mailto:online@kinokuniya.co.jp)) までお願い致します。  
お預かりした個人情報は、弊社規定の「個人情報取扱方針」<http://www.kinokuniya.co.jp/06/gaiyo6.htm> に則り、取り扱わせて頂きます。

## Early English Books Online (EEBO)

### 初期近代英国の大衆向け印刷物(ブロードサイド・バラッドほか)

Early English Books Online (EEBO、初期英語書籍集成データベース)は、15-17世紀に英国で出版(あるいは英語で記述・刊行)された印刷物約13万点を収録するデータベースです。

この時代には、書籍のみならず、ちらしやパンフレットといった簡素な印刷物も多く流通しましたが、これらの印刷物は生活に密着した消耗品であるためにきわめて失われやすく、現存するものは貴重です。EEBOは、書籍のみならず、こうした失われやすい印刷物も豊富に収録しています。本稿では、EEBOからこれらの貴重な史料の一部をご紹介します。



#### ブロードサイド・バラッド

ブロードサイドとは、瓦版に似た安価な印刷媒体で、チラシ大の紙の片面にニュースや物語など大衆向けの平俗な内容を印刷したもので、英國では16世紀初めごろから流通し、とりわけ、中世以来の口承歌謡バラッドの伝統と結びついて生まれた「ブロードサイド・バラッド」が愛されました。新聞や雑誌が普及する以前の時代には、町角で歌われるブロードサイド・バラッドは市井の人々がニュースを知るための主要なメディアであり、大きな娯楽でもありました。EEBOの大規模なブロードサイド・バラッドコレクションから、一部をご紹介します。

#### ニュース

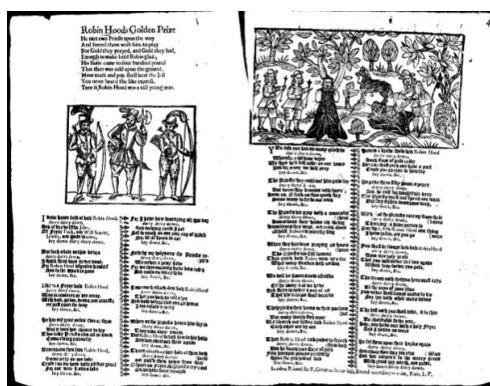


5月の花の喜び (1660年)  
チャールズ2世による王政復古を伝え、  
歓迎するバラッド

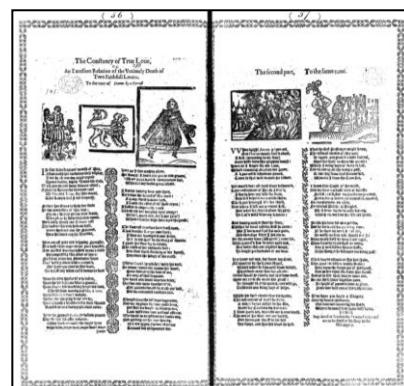


キリスト教の征服 (1681年～1684年頃)  
オスマン帝国の第二次ウィーン包囲に対する  
ヨーロッパ連合軍の勝利を伝えるバラッド

#### 物語



ロビン・フッドと強欲な僧侶 (1650年)  
中世以来の口承バラッドも印刷に付された



真の愛の貞節、誠実な恋人たちの早すぎる死  
(1635年) ロマンスは大いに好まれた

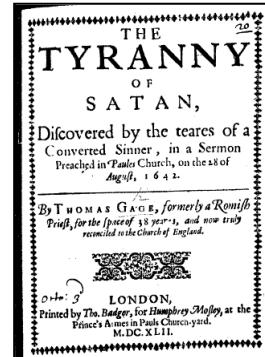
## 宗教闘争・政治闘争

17世紀半ば、宗教・政治上の対立が激化する中で、緊迫したニュースが印刷物にのって飛び交い、また、さまざまな勢力が自派の意見を主張するためのちらしやパンフレットを流布させました。当時の英国社会の混乱と分裂を生々しく証言するこれらの印刷物の貴重な現存例が、EEBOには豊富に収録されています。



議会派

王国に巣食う怪物を天が暴く  
—王党派、カトリック、アイ  
ルランド人の3つの頭をもつ  
怪物が法と秩序を破壊する  
(1643年)



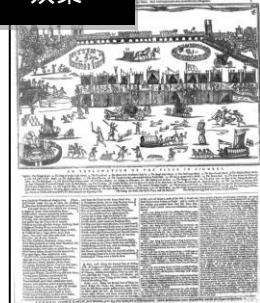
カトリック批判

悪魔の暴政（1642年）  
英國国教会に改宗した  
元カトリック司祭による  
ローマ批判の説法。  
教会で実際に話された  
説法を印刷したものは多い。

## 大衆の暮らし

印刷・出版文化の成熟とともに、さまざまな内容のチラシや小冊子が流通しました。EEBOは、知識階級が手にした書籍だけでなく、より多くの人々が目にしたであろうこれら簡素な印刷物も収録しており、初期近代の英国の社会と文化に関する貴重な資料をご提供します。

娯楽



テムズ河凍結—ロンドン市民  
は氷上で出店やスケート、  
だし物を楽しんだ（1684年）

ゴシップ



バッキンガムシャーに生ま  
れた異形の子供（1566年）  
奇形はしばしば大衆的好奇  
心の的になった

信仰



日食は神の裁きの  
前触れ（1695年）

死



16~17世紀の7度の疫病による  
ロンドンの死者数の記録（1665年）  
死の舞踏（1596年）

公告



国王の布告（1604年）

実用



月めくりの暦の小冊子（1631年）  
万年曆（17世紀）



教養ある淑女の楽しみ—  
保存食、美容、料理（1677年）  
女性のための家政の手引き書

掲載の商品・サービスに関するお申し込み、お問い合わせは、株式会社 紀伊國屋書店 学術情報商品部

（電話：03-6910-0518、ファクス：03-6420-1359、e-mail：[online@kinokuniya.co.jp](mailto:online@kinokuniya.co.jp)）までお願い致します。

お預かりした個人情報は、弊社規定の「個人情報取扱方針」<http://www.kinokuniya.co.jp/06f/gaiyo6.htm>に則り、取り扱わせて頂きます。